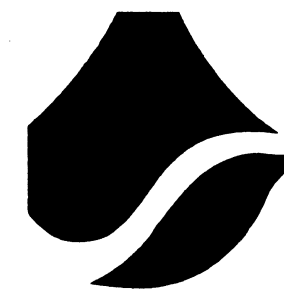


令和8年度

履修要項



静岡県公立大学法人

静岡県立大学短期大学部

UNIVERSITY OF SHIZUOKA, JUNIOR COLLEGE

令和8年度

履修要項

静岡県立大学短期大学部

目次

1 教育目的	5	【歯科衛生学科】	
2 教育目標	5	生理学	77
3 授業時間等	7	解剖学	78
4 履修方法	8	組織発生学	79
【歯科衛生学科】	8	生化学	80
【社会福祉学科社会福祉専攻】	10	□腔生理学	81
【社会福祉学科介護福祉専攻】	16	□腔解剖学	82
【こども学科】	18	□腔発達学	83
5 履修科目の登録	22	高齢者歯科学	84
6 試験及び成績査定	23	障害者歯科学	85
7 履修内容	25	病理学	86
【教養科目】		病態学	87
現代と哲学	25	□腔病理学	88
現代と歴史	26	微生物学	89
文学	27	□腔微生物学	90
人間の心理	28	薬理学	91
生命と倫理	30	歯科薬理学	92
言語と表現	31	□腔衛生学Ⅰ	93
音楽通論	33	□腔衛生学Ⅱ	94
生活と法	35	歯科衛生統計学	95
発達と教育	36	衛生学・公衆衛生学	96
現代社会学	37	歯科衛生行政学	97
国際関係論	38	社会保険論	98
情報・メディアの法と倫理	39	歯科衛生学総論	99
地域文化論	40	歯科衛生倫理	100
日本経済論	41	臨床歯科医学序論	101
地域社会論	42	臨床検査法	102
生活の化学	43	歯科保存学	103
生物学	44	歯周治療学	104
地球環境論	45	歯科補綴学	105
食生活と環境	46	小児歯科学	106
英語	47	□腔外科学	107
実用英会話	49	歯科矯正学	108
応用英語	50	歯科放射線学	109
データサイエンス入門	51	臨床歯科医学特論	110
標本調査	53	歯科予防処置論	111
情報処理演習	54	齲蝕予防処置実習	112
情報の活用	56	歯周疾患予防処置論	113
健康科学論	58	歯周疾患予防処置実習Ⅰ	114
体育実技	60	歯周疾患予防処置実習Ⅱ	115
【学科共通科目】		臨床歯科診査法	116
医療福祉システム論	63	栄養学・歯科栄養学	117
人間関係と援助技術	64	歯科保健指導論	118
ホスピタルプレイⅠ（入門編）	65	歯科保健指導実習	119
ホスピタルプレイⅡ（障がい児編）	66	地域歯科保健論	120
		地域歯科保健実習	121
		歯科衛生過程	122
		□腔保健管理学実習	123
		食生活指導演習Ⅰ	124
		食生活指導演習Ⅱ	125
		歯科材料学	126
		歯科材料学実習	127

歯科診療補助論	128	子どもの理解と援助	185
歯科診療補助・支援実習Ⅰ	129	子どもの保健	186
歯科診療補助・支援実習Ⅱ	130	子どもの食と栄養	187
感染予防法	131	教育課程・保育計画論	188
救急処置法	132	保育内容総論	189
障害者歯科保健介護論	133	保育内容指導法（健康）	190
口腔介護予防・リハビリテーション法	134	保育内容指導法（人間関係）	191
障害者歯科保健介護実習	135	保育内容指導法（環境）	192
臨地実習基礎	136	保育内容指導法（言葉）	193
臨地実習応用	137	保育内容指導法（表現）	194
臨地実習Ⅰ	138	乳児保育Ⅰ	195
臨地実習Ⅱ	139	乳児保育Ⅱ	196
臨地実習Ⅲ	140	子どもの健康と安全	197
社会福祉論	141	障がい児保育Ⅰ	198
臨床心理	142	障がい児保育Ⅱ	199
災害時歯科保健	143	社会的養護Ⅱ	200
健康社会学	144	子育て支援	201
介護概論・介護技術	145	保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	202
カウンセリング入門	146	保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	203
リハビリテーション	147	保育内容の理解と方法Ⅲ（音楽）	204
歯科衛生総合演習Ⅰ	148	保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	205
歯科衛生総合演習Ⅱ	149	保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	206
【社会福祉学科社会福祉専攻】			
社会保障論Ⅰ	155	保育実習Ⅰ	207
社会保障論Ⅱ	156	保育実習指導Ⅰ	208
社会調査の基礎	157	保育実践演習・卒業研究	209
ソーシャルワーク論Ⅲ	158	臨床心理学	214
ソーシャルワーク論Ⅳ	159	障がいとコミュニケーション技法	215
ソーシャルワーク演習Ⅰ	160	保育内容の理解と方法Ⅱ（言葉）	216
ソーシャルワーク演習Ⅱ	161	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	217
ソーシャルワーク演習Ⅲ	162	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	218
地域福祉と包括的支援体制	163	保育内容の理解と方法Ⅱ（身体）	219
福祉サービスの組織と経営	164	保育実習Ⅱ	220
老人福祉論	165	保育実習Ⅲ	221
障害者福祉論	166	保育実習指導Ⅱ	222
公的扶助論	167	保育実習指導Ⅲ	223
権利擁護と成年後見制度	168	児童・家族福祉支援論	224
司法福祉	169	社会福祉演習	225
ソーシャルワーク実習指導	170	【社会福祉学科介護福祉専攻】	
ソーシャルワーク実習	171	社会福祉Ⅰ	237
子ども家庭福祉	172	障害とコミュニケーション技法	238
社会福祉原論Ⅰ	173	福祉経営とリーダーシップ	239
社会福祉原論Ⅱ	174	社会福祉Ⅱ	240
ソーシャルワーク論Ⅰ	175	社会保障論	241
ソーシャルワーク論Ⅱ	176	家族福祉論	242
介護福祉論	177	児童福祉論	243
医学一般（基礎）	178	公的扶助	244
保育原理	179	介護レクリエーションⅢ	245
子ども家庭支援論	180	介護レクリエーションⅣ	246
社会的養護Ⅰ	181	介護レクリエーションA	247
保育者論	182	介護レクリエーションB	248
保育の心理学	183	身体のしくみⅠ	249
子ども家庭支援の心理学	184	身体のしくみⅡ	250
		身体のしくみⅢ	251

心のしくみ	252	教育の方法と技術	310
障害者の生活の理解Ⅰ	253	幼児理解	311
こころの障害	254	乳児保育Ⅰ	312
認知症の理解Ⅰ	255	乳児保育Ⅱ	313
認知症の理解Ⅱ	256	生活	314
発達と老化Ⅰ	257	保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	315
発達と老化Ⅱ	258	保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	316
介護福祉論Ⅰ	259	保育内容の理解と方法Ⅲ（音楽）	317
介護福祉論Ⅱ	260	保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	318
高齢者の生活の理解Ⅰ	261	保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	319
高齢者の生活の理解Ⅱ	262	保育の心理学	320
障害者の生活の理解Ⅱ	263	子ども家庭支援の心理学	321
介護リハビリテーション	264	子どもの理解と援助	322
コミュニケーションⅠ	265	子どもの保健	323
コミュニケーションⅡ	266	子どもの健康と安全	324
生活支援技術Ⅰ	267	子どもの食と栄養	325
生活支援技術Ⅱ	268	子ども家庭支援論	326
生活支援技術Ⅲ	269	教育相談	327
生活支援技術Ⅳ	270	子育て支援	328
基礎介護技術	271	社会福祉原論Ⅰ	329
応用介護技術	272	子ども家庭福祉	330
発展介護技術	273	社会的養護Ⅰ	331
介護過程Ⅰ	274	社会的養護Ⅱ	332
介護過程Ⅱ	275	介護福祉論	333
介護過程Ⅲ	276	臨床心理学	334
介護過程Ⅳ	277	障がいとコミュニケーション技法	335
発展介護過程	278	保育内容の理解と方法Ⅱ（言葉）	336
介護実習指導Ⅰ	279	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	337
介護実習指導Ⅱ	280	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	338
介護実習ⅠA	281	保育内容の理解と方法Ⅱ（身体）	339
介護実習ⅠB	282	教育実習	340
介護実習ⅡA	283	教育実習指導	341
介護実習ⅡB	284	保育実習Ⅰ	342
医療的ケアⅠ	285	保育実習指導Ⅰ	343
医療的ケアⅡ	286	保育実習Ⅱ	344
医療的ケアⅢ	287	保育実習Ⅲ	345
介護福祉演習	288	保育実習指導Ⅱ	346
		保育実習指導Ⅲ	347
		保育・教職実践演習	348
		日本国憲法	349
		卒業研究	350
【こども学科】		8 実務経験のある教員による授業科目	359
教育原理	293	9 アドミッション・ポリシー	364
幼児教育者論	294	10 カリキュラム・ポリシー	365
教育社会学	295	11 ディプロマ・ポリシー	368
教育心理学	296	12 障害学生支援に関する基本方針	369
保育原理	297	13 履修細則	371
教育課程・保育計画論	298		
保育内容総論	299		
保育内容指導法（健康）	300		
保育内容指導法（人間関係）	301		
保育内容指導法（環境）	302		
保育内容指導法（言葉）	303		
保育内容指導法（表現）	304		
子どもの健康	305		
子どもの環境	306		
子どもの表現A	307		
子どもの表現B	308		
特別な教育的ニーズの理解と支援	309		

1 教育目的

学則第2条の2に定める、教育目的は各学科等について次のとおりである。

- 1 歯科衛生学科は、高度化する歯科保健医療に対応した専門的知識と技術を有し、他職種と協働して、歯科衛生の方法を用いて人々の生涯にわたる健康づくりに貢献できる人間性豊かな歯科衛生士を養成する。
- 2 社会福祉学科は、多様化する福祉ニーズに対応した専門的知識と技術を有し、福祉サービスを必要とする人々の自立と自己実現を支援できる感性豊かな社会福祉専門職を養成する。
 - (1) 社会福祉専攻では、保育ニーズに対応した相談援助のできる保育士と、専門的知識と技術とを兼ね備えた社会福祉士を養成する。
 - (2) 介護福祉専攻では、高齢者や心身に障害を抱える人々が自立した生活ができるように、日常生活を援助し必要な助言ができる介護福祉士を養成する。
- 3 こども学科は、子どもの健やかな育ちを保障するための高度な専門知識と実践能力に加え、教養及び豊かな人間性を持ち自ら学び続けることのできる保育者を養成する。
- 4 一般教育においては、主体的判断力を持った自立的個人を養成するために、論理的思考能力・科学的観察力・批判的精神を培う。

2 教育目標

1 教養科目

全学科・専攻に共通する「教養課程（一般教育）」は、保健医療・福祉分野の向上に貢献できる有為な人材を育成するため、その基盤としての豊かな人間性や総合的判断力を培うことを目標としている。開講される科目は、「人間理解」・「人間と現代社会」・「地域と生活」・「人間と自然環境」・「知の技法」・「健康とスポーツ」・「総合」の7つの群から構成されている。

それぞれの群の教育目標

「人間理解」群

人間あるいは人間存在のあり方という根本問題を探索考察し、人間の行為の原理を解明することにより、人間性への理解を深め、生命の尊重と人間の尊厳を理解する豊かな人間性をもった個の育成を目指す。

「人間と現代社会」群

高度に成熟しつつある現代社会における、法律や政治、経済、国際関係のあり方などを考察することにより、現代社会に対する理解を深め、時代の要請に的確に対応できる判断力と実践力を備えた個の育成を目指す。

「地域と生活」群

地域と生活の視点から、文化や社会、経済などを考察し、その発展に貢献することができる個の育成を目指す。

「人間と自然環境」群

人とその生活を取り巻く物質、食物、生物、地球などといった環境を自然科学の観点から学ぶことによって、人が環境にどのように関わってゆくべきかを考えることのできる個の育成を目指す。

「知の技法」群

英語力や情報処理能力を高め、在学中はもとより生涯にわたる学習を続けるための基盤を養う。

「健康とスポーツ」群

現代生活における人の健康を考察するとともに、テニス、バドミントンなどのスポーツ実践を通じて健全な運動習慣を身につけ、生涯にわたって心身の健康を保つことのできる個の育成を目指す。

「総合」群

複数の「群」にわたる内容を持つ科目が総合の視点から開講される。

2 歯科衛生学科

- ①対象者の生活環境や全身の健康状態などを総合的に把握して、適切に対応できる幅広い知識と豊かな人間性を養う。
- ②歯科衛生士の役割と責務を自覚し、的確にそれを遂行することができる能力を養う。
- ③専門的知識と技術に裏付けられた歯科衛生士として、地域における歯科保健活動を推進できる能力を養う。
- ④保健・医療・福祉の複合化のなかで、歯科衛生の方法を用いて人々の健康を支援するために、協調性と良識をもった社会人として、異なる職種のスタッフと連携や協力ができる知識や態度を養う。

3 社会福祉学科

- ①地域社会の変化に関心を持ち、福祉の担い手として主体的に発展向上させる能力を養う。
- ②多様な福祉ニーズに対応できるように、総合的に物事を判断できる能力を養う。
- ③対象者の自立と自己実現を目指して、保健・医療分野と連携して協働できる能力を養う。
- ④人に対して暖かい眼差しを持ち、あらゆる場面において人権を尊重することができる能力を養う。
- ⑤社会福祉専攻では、相談援助のできる保育士と、高度な社会福祉専門的知識と技術を兼ね備えた社会福祉士を育成する。また、介護福祉専攻では、視野が広く応用力のある介護福祉士を育成する。

4 こども学科

- ①幅広い教養、専門的な知識・技術を基に、教育・保育活動を主体的に創り出す能力を養う。
- ②子どもの発達や、様々な立場の子どもへの理解を土台にして、教育・保育活動を創造、展開する能力を養う。
- ③自らの構想する教育・保育活動を、身体や言葉などで表現する能力を養う。
- ④主体的に課題を見つけて考察し、研究しようとする態度と力を養う。
- ⑤他の保育者や保護者、更には地域の機関と協働する上で、調和を重んじながら進めることのできる知識や態度を養う。

3 授 業 時 間 等

1 授業時間

授業時間は、原則として1時限90分、1日5時限とする。

ただし、必要に応じて6時限（18：00～19：30）を設けることができる。

時限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
時間	9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50

2 授業時間割

授業時間割表は、4月のガイダンスの際に配付する。

時間割は、配付後に多少変更する場合があるので、掲示またはWeb 学生サービス支援システムに注意すること。

3 休講、補講、集中講義等

(1) 休講等

休講、授業時間及び授業場所の変更は、原則としてWeb 学生サービス支援システムで連絡するので注意すること。

(2) 補講

夏期及び冬期休業中に、補講のための期間を設けている。補講を行う際には、掲示またはWeb 学生サービス支援システムで連絡するので、日時・教室等をよく確認すること。

(3) 集中講義、隔週授業

科目によっては、ある一定期間内に集中して行う講義、または隔週に行う講義等がある。詳細は掲示またはWeb 学生サービス支援システムで連絡するので、日時・教室等をよく確認すること。

4 履修方法

[歯科衛生学科]

〈令和4年度、令和5年度、令和6年度、令和7年度、令和8年度 入学生〉

1 教養科目

- (1) 「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上履修する。
- (2) 「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上履修する。
- (3) 「健康とスポーツ」群から1科目以上履修する。
- (4) 合計10単位以上履修する。

※同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

※「生物学」「生活の化学」を専門科目の基礎として履修することが望ましい。

2 専門科目

(1) 必修科目

「歯科衛生学科履修科目表」の必修科目は、そのすべてを履修しなければならない。

(2) 選択必修科目

①選択必修科目13科目(13単位)の中から7科目(7単位)以上選択し、履修する。

②学科共通科目「医療福祉システム論」、「人間関係と援助技術」、「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1科目(1単位)以上選択し履修する。

(3) 選択科目

選択科目については、履修することが望ましい。

3 実習・臨地実習

実習・臨地実習科目の履修は、**原則として**下記のとおりとする。

科目名	履修条件
歯科材料学実習	「歯科材料学」の単位を修得していること
歯周疾患予防処置実習Ⅰ	「歯周疾患予防処置論」「感染予防法」の単位を修得していること
歯周疾患予防処置実習Ⅱ	「歯周疾患予防処置実習Ⅰ」の単位を修得していること
齲蝕予防処置実習	「歯科予防処置論」「感染予防法」の単位を修得していること
歯科診療補助・支援実習Ⅰ	「歯科診療補助論」「歯科材料学実習」「感染予防法」の単位を修得していること
歯科診療補助・支援実習Ⅱ	「歯科診療補助・支援実習Ⅰ」の単位を修得していること
歯科保健指導実習	「歯科保健指導論」「感染予防法」の単位を修得していること
口腔保健管理学実習	「歯科衛生過程」「歯科保健指導実習」「歯周疾患予防処置実習Ⅰ」「歯科診療補助・支援実習Ⅰ」「齲蝕予防処置実習」「食生活指導演習Ⅰ」の単位を修得していること
地域歯科保健実習	「地域歯科保健論」の単位を修得していること
障害者歯科保健介護実習	「高齢者歯科学」「障害者歯科学」及び「障害者歯科保健介護論」の単位を修得していること

臨地実習応用	1年次後期までに開講されている専門科目（必修）の単位をすべて修得していること
臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ	2年次後期までに開講されているすべての専門科目（必修）の単位及び教養科目10単位以上を修得した後に履修できる。

4 履修における留意事項

- (1) 専門科目は順序性があるため、1年次に配当されている専門科目（必修）の単位が未修得の場合は、翌年度、必ず再履修すること。
- (2) 1年次単位未修得の専門科目（必修）が3科目以上ある場合は、原則、1年次の専門科目を再履修し、2年次専門科目の履修を不可とする。

5 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たした上で、合計102単位以上修得する。

6 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。（社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。）

ただし、履修する場合は事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目の担当教員に申し出て承諾を得ること。

7 歯科衛生士国家試験受験資格の取得方法

本学科に3年以上在籍し、上記1及び2に基づく102単位以上を修得する。

[社会福祉学科 社会福祉専攻] (令和7年度以前の入学生)

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない(17単位)。選択科目については、36単位または61単位(保育士資格取得者の場合)以上を履修する。合わせて、53単位または78単位(保育士資格取得者の場合)以上となる。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。(社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。)

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の授業科目欄を参照すること。

6 社会福祉士国家試験受験資格の取得科目

社会福祉士国家試験受験資格の取得には、本学科に2年以上在学して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の社会福祉士指定科目欄に従い履修し、卒業した後、指定された職種に就き2年以上の実務経験を経なければならない。もしくは、他の4年制大学に編入し卒業した後国家試験に合格することによって、取得可能となる。

7 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本専攻に2年以上在籍して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の保育士資格欄に従い履修し、卒業しなければならない。なお、本専攻は社会福祉士国家試験受験資格指定科目の履修を基本理念としているので、ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳを履修することが望ましい。

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない(19単位)。選択科目については、34単位または59単位(保育士資格取得者の場合)以上を履修する。合わせて、53単位または78単位(保育士資格取得者の場合)以上となる。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。(社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。)

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の授業科目欄を参照すること。

6 社会福祉士国家試験受験資格の取得科目

社会福祉士国家試験受験資格の取得には、本学科に2年以上在学して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の社会福祉士指定科目欄に従い履修し、卒業した後、指定された職種に就き2年以上の実務経験を経なければならない。もしくは、他の4年制大学に編入し卒業した後国家試験に合格することによって、取得可能となる。

7 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本専攻に2年以上在籍して「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の保育士資格欄に従い履修し、卒業しなければならない。なお、本専攻は社会福祉士国家試験受験資格指定科目の履修を基本理念としているので、ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳを履修することが望ましい。

別表 「社会福祉学科社会福祉専攻履修科目表」の選択科目のうち、
保育士資格及び社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な科目表

① 保育士資格取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
発達と教育	2	保育内容の理解と方法Ⅰ(身体)	1
健康科学論	1	乳児保育Ⅰ	2
体育実技	1	乳児保育Ⅱ	1
子ども家庭福祉	2	子どもの健康と安全	1
社会福祉原論Ⅰ	2	障がい児保育Ⅰ	1
社会福祉原論Ⅱ	2	障がい児保育Ⅱ	1
保育原理	2	社会的養護Ⅱ	1
子ども家庭支援論	2	子育て支援	1
社会的養護Ⅰ	2	保育実習Ⅰ	4
保育者論	2	保育実習指導Ⅰ	2
保育の心理学	2	保育実践演習・卒業研究	2
子ども家庭支援の心理学	2	ソーシャルワーク論Ⅰ	2
子どもの理解と援助	1	ソーシャルワーク論Ⅱ	2
子どもの保健	2	介護福祉論	2
子どもの食と栄養	2	医学一般(基礎)	2
教育課程・保育計画論	2	臨床心理学	2
保育内容総論	1	障がいとコミュニケーション技法	1
保育内容指導法(健康)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(言葉)	1
保育内容指導法(人間関係)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(音楽)	1
保育内容指導法(環境)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(造形)	1
保育内容指導法(言葉)	2	保育内容の理解と方法Ⅱ(身体)	1
保育内容指導法(表現)	4	保育実習Ⅱ	2
保育内容の理解と方法Ⅰ(言葉)	1	保育実習指導Ⅱ	1
保育内容の理解と方法Ⅰ(音楽)	1	保育実習Ⅲ	2
保育内容の理解と方法Ⅰ(造形)	1	保育実習指導Ⅲ	1

6 単
位
以
上
履
修

Ⅱ、Ⅲ
の
い
ず
れ
か
を
履
修

② 社会福祉士国家試験受験資格指定科目表

(参考)指定科目等の名称	授業科目名	単位数	備考
医学概論	医学一般（基礎）	2	
心理学と心理的支援	人間の心理	2	
社会学と社会システム	現代社会学	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論Ⅰ	2	
	社会福祉原論Ⅱ	2	
社会福祉調査の基礎	社会調査の基礎	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワーク論Ⅳ	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	1	
社会保障	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
高齢者福祉	老人福祉論	2	
障害者福祉	障害者福祉論	2	
児童・家庭福祉	子ども家庭福祉	2	
貧困に対する支援	公的扶助論	2	
保健医療と福祉	医療福祉システム論	1	
権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見制度	1	
刑事司法と福祉	司法福祉	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導	3	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	5	

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」の各群からそれぞれ2単位以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から2単位以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※ 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科介護福祉専攻履修科目表」の必修科目は、全員が履修しなければならない。選択科目については、「人間と社会」の7科目のうち、3科目以上かつ6単位以上を履修しなければならない。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計99単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 介護福祉士国家試験受験資格の取得方法

本学科に2年以上在籍し、上記1及び2に基づく99単位以上を修得する。

6 社会福祉主事任用資格取得科目

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることによって、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科介護福祉専攻履修科目表」の授業科目の欄を参照すること。

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」の各群からそれぞれ2単位以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から2単位以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※ 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ(入門編)」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「社会福祉学科介護福祉専攻履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない(23単位)。選択科目については30単位以上を履修する。

介護福祉士国家試験受験資格を取得する場合は、資格必修科目及び資格選択科目(5科目のうち3科目以上かつ6単位以上)、合計99単位以上を履修しなければならない。

3 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

4 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科(他専攻)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

5 介護福祉士国家試験受験資格の取得方法

本学科に2年以上在籍し、上記1及び2に基づく99単位以上を修得する。

6 社会福祉主事任用資格取得科目

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることによって、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「社会福祉学科介護福祉専攻履修科目表」の授業科目の欄を参照すること。

[こども学科]

1 教養科目

「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」「人間と自然環境」「健康とスポーツ」の各群からそれぞれ1科目以上を、また「英語」「実用英会話」「応用英語」の中から1科目以上を選択し、合計12単位以上となるよう履修する。

※ 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。

※ 時間割上可能で教務上の支障もない場合、他学科開講の教養科目を履修することができる。

2 専門科目

(1) 学科共通科目

「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルプレイⅠ（入門編）」のうちから、1単位以上履修する。

(2) 学科共通科目以外の専門科目

「こども学科履修科目表」の必修科目は全員が履修しなければならない（47単位）。

選択科目については6単位以上を履修する。幼稚園教諭免許または保育士資格を取得する場合は、更にそれぞれの必要な授業科目を履修すること。

3 教育実習の受講資格

教育実習を受講するためには、次の科目を履修済であること。

教育課程・保育計画論、保育内容総論、保育内容指導法（健康）、保育内容指導法（人間関係）、保育内容指導法（環境）、保育内容指導法（言葉）、保育内容指導法（表現）、教育の方法と技術、幼児理解

4 卒業単位数

上記1及び2に掲げる条件を満たしたうえで、合計66単位以上修得する。

5 他学科等履修科目

卒業単位には認定されないが、他学科で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修することができる。（社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。なお、同専攻の授業は、一定の人数を超えてはならないため、他学科の学生の履修が認められないこともある。）

ただし、履修するには事前に「他学科等科目履修願」を学生室に提出すること。履修許可前に受講する場合は、当該科目担当教員に申し出て承諾を得ること。

6 社会福祉主事任用資格取得方法

社会福祉主事とは、福祉事務所において、福祉サービスに関わる職員に必要とされる資格である。社会福祉主事任用資格とは、この「社会福祉主事」になることができるという資格であり、福祉事務所に勤めることにより、「任用」の文字が外され社会福祉主事となる。

社会福祉主事任用資格に該当する科目については、「こども学科履修科目表」の社会福祉主事任用資格欄を参照すること。

7 幼稚園教諭二種免許状の取得方法

幼稚園教諭二種免許状の取得には、本学科に2年以上在学して「こども学科履修科目表」の幼稚園教諭免許欄に従い単位を修得し、卒業しなければならない。

8 保育士資格等の取得方法

保育士資格の取得には、本学科に2年以上在籍して「こども学科履修科目表」の保育士資格欄に従い単位を修得し、卒業しなければならない。

別表 「こども学科履修科目表」の選択科目のうち、
幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得に必要な科目表

① 幼稚園教諭二種免許状取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
英語	2	子どもの表現A	1
情報処理演習	1	子どもの表現B	1
情報の活用	1	特別な教育的ニーズの理解と支援	2
健康科学論	1	教育の方法と技術	2
体育実技	1	幼児理解	2
教育原理	2	生活	2
幼児教育者論	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	1
教育社会学	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	1
教育心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	1
教育課程・保育計画論	2	保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	1
保育内容総論	1	保育の心理学	2
保育内容指導法（健康）	2	教育相談	2
保育内容指導法（人間関係）	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	1
保育内容指導法（環境）	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	1
保育内容指導法（言葉）	2	教育実習	4
保育内容指導法（表現）	4	教育実習指導	1
子どもの健康	1	保育・教職実践演習	2
子どもの環境	1	日本国憲法	2

② 保育士資格取得に必要な授業科目

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
健康科学論	1	子育て支援	1
体育実技	1	社会福祉原論Ⅰ	2
教育原理	2	子ども家庭福祉	2
幼児教育者論	2	社会的養護Ⅰ	2
保育原理	2	社会的養護Ⅱ	1
教育課程・保育計画論	2	保育実習Ⅰ	4
保育内容総論	1	保育実習指導Ⅰ	2
保育内容指導法（健康）	2	保育・教職実践演習	2
保育内容指導法（人間関係）	2	教育心理学	2
保育内容指導法（環境）	2	子どもの健康	1
保育内容指導法（言葉）	2	子どもの環境	1
保育内容指導法（表現）	4	子どもの表現A	1
特別な教育的ニーズの理解と支援	2	子どもの表現B	1
乳児保育Ⅰ	2	教育の方法と技術	2
乳児保育Ⅱ	1	幼児理解	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（言葉）	1	介護福祉論	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（音楽）	1	臨床心理学	2
保育内容の理解と方法Ⅰ（造形）	1	障がいとコミュニケーション技法	1
保育内容の理解と方法Ⅰ（身体）	1	保育内容の理解と方法Ⅱ（言葉）	1
保育の心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（音楽）	1
子ども家庭支援の心理学	2	保育内容の理解と方法Ⅱ（造形）	1
子どもの理解と援助	1	保育内容の理解と方法Ⅱ（身体）	1
子どもの保健	2	保育実習Ⅱ	2
子どもの健康と安全	1	保育実習指導Ⅱ	1
子どもの食と栄養	2	保育実習Ⅲ	2
子ども家庭支援論	2	保育実習指導Ⅲ	1

6 単
位
以
上
履
修

Ⅱ、Ⅲ
のい
ず
れか
を
履
修

5 履修科目の登録

- 1 学生は、履修する授業科目（必修・選択両方）を指定された期間内（年度初めの概ね2週間）に Web 学生サービス支援システムで申告すること。
- 2 学生は、履修登録後、Web 学生サービス支援システムで自分の履修する科目が正しく登録されているかどうかを自らの責任において確認すること。登録漏れや誤登録があったら、学生室が指定する履修登録の変更期間（概ね1週間）に Web 学生サービス支援システムで修正をすること。
- 3 授業科目によっては、施設上または教育上やむを得ないと認められる場合は、履修者を制限する場合がある。
- 4 Web 学生サービス支援システムによって履修登録した科目以外の単位は、受講した場合でも認定されない。逆に履修登録した科目を受講しなかったり、中途放棄したりすると、その科目の成績は不可となるので注意すること。
- 5 既に届け出た履修科目の学年（学期）途中での変更は、原則として認めない。

6 試験及び成績査定

- 1 授業科目の単位計算方法は、前・後期それぞれ15週で計算し、1単位の履修時間を教室内及び教室外（学外実習）と併せて45時間とする。
 - (1) 講義や演習については、15ないし30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験・実習・実技については、すべて実験室・実習室等で行うものとし、30ないし45時間の授業をもって1単位とする。
- 2 講義・演習及び実験・実習・実技の受講が実施回数の8割に満たないときは、科目担当者が認めた場合を除き、修得の認定をしない。
※30分以内の遅刻又は早退3回は、原則として欠席1回とみなす。
- 3 講義等を欠席し、欠席の理由を伝えたい場合や提出の指示があった場合には、学生室で確認を受けた後、欠席届を授業担当教員へ提出する。
次の理由により欠席する場合は、授業担当教員の判断により公欠扱いになる。授業担当教員が必要と認めた場合は補講等を行う。
なお、実習中に下記の理由により欠席する場合は、各学科の指示に従うこと。
 - (1) 災害等による交通機関の不能
 - (2) 忌引き（証明できる書類が必要）
なお、忌引きによる欠席が認められる日数は、下表のとおり。

死亡した者	日数
1 親等（父、母、子）、配偶者	連続7日以内（土日を含む）
2 親等（兄弟姉妹、祖父母）	連続3日以内（土日を含む）
3 親等（おじ、おば、曾祖父母）	1日

 - (3) 学校において予防すべき感染症に罹った時（登校許可証明書の提出が必要）
※病気の種類は、学生便覧を参照すること。
 - (4) その他教授会で認めるもの
- 4 成績については、次のとおりである。
秀・優・良・可・不可の5種の評語をもって表し、秀・優・良・可を合格とする。
成績の評価の区分は、100点満点としたとき、秀：100～90、優：89～80、良：79～70、可：69～60、不可：59点以下を目安とする。

[試験に関する取り扱い]

1 試験とは

静岡県立大学短期大学部は、学修の成果を評価するために学生の履修した授業科目について、試験の上、単位を与える。

試験は筆記による場合が多いが、科目担当者の判断によって、レポートあるいは口頭試問、実技テストのように他の方法によって評価を決定する場合もある。また、出席状況その他平素の成績も評価を行うための資料となる。

2 試験の種類

(1) 定期試験

定期試験は、各学期の終了時（8月から9月及び2月）に実施される。ただし、通年科目は、学期ごとの試験を行わず、授業終了時にのみ試験を実施することがある。

定期試験時間割は、試験開始の10日前に掲示によって発表される。発表後も変更されることがあるので、掲示に注意すること。

(2) 臨時試験

定期試験期間以外に、授業中あるいは特別な時間を設けて臨時に試験を実施することがある。この場合、授業や掲示等で伝達されることが多いので、聞き漏らしや見落としのないように注意すること。

3 追試験

次の理由で試験を欠席した者については、追試験を願い出ることができる。

(1) 病気（ただし、原則として医師の診断書を要する）

(2) 忌引（日数は、死亡の日から1親等は7日以内、2親等は3日以内及び3親等は1日とする。）

(3) 就職・進学に関する理由（ただし、原則として7日前までに科目担当者又は学生室に追試験願を願い出た場合に限る）

(4) 公共交通機関の遅延（ただし、原則として遅延理由書を要する）

(5) その他やむを得ない事由（ただし具体的に事情の具申のあるもの）

なお、軽微な風邪等は、正式な理由と認められないので注意すること。

追試験を受けようとする者は、定期試験の当該科目試験終了の日から7日以内に、追試験願（用紙は学生室にある）にその事由を詳記し、医師の診断書またはその事由を証明する書類を添付し、学生室に願い出する。

4 再試験

授業科目の試験の成績が不可または不合格になった場合に、なお当該科目を修得したい者は再履修するのが原則である。しかし、科目担当者が必要と認める場合には、再試験を許可されることがある。再試験を受けようとする者は、試験結果発表の日から7日以内に再試験願を科目担当教員または学生室に提出する。再試験の成績の評価は、「可」以下となる。

5 受験上の注意

試験場内では、すべて監督者の指示またはあらかじめ指示されている事項に従わなければならない。定期試験の受験方法は次のとおりである。

(1) 筆記試験を受験する際は、机上に学生証を提示すること。（筆記試験以外でも学生証によって出席確認をするので、常時、学生証を携帯しておくこと。）

(2) 筆記試験では試験開始から10分経過以後の入室は原則として認めない。

(3) 筆記試験では試験開始から30分経過するまでは、原則として退室を認めない。

(4) 当該科目担当者の判断によって、受験上、不正行為と認められた者は、退場しなければならない。

なお、上記(1)～(3)について各試験の際に、別に指示がある場合は、それに従うこと。

齒科衛生學科

歯科衛生士学科 履修科目表(令和8(2026)年度入学生)

教養科目	授業科目	単位数	開講時期						担当者	備考
			1年		2年		3年			
			前	後	前	後	前	後		
人間と社会生活の理解	現代と哲学	2	○					※先頭の教員が科目担当責任者です。	「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上、「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上、「健康とスポーツ」群から1科目以上履修し、合計10単位以上履修すること。	
	現代と歴史	2	○					尾崎(貴)		
	文学	2	○					厚地		
	人間の心理	2	○					有元		
	生命と倫理	2	○					瀬山		
	言語と表現	2	○					常岡		
	音楽通論	2	○					杉松		
	生活と法	2	○					山本(学)		
	養護と教育	2	○					稲本		
	現代社会学	2	○					大賀		
科学的思考の基礎	国際関係論	2		○				上田		
	情報・メディアの法と倫理	2		○				金		
	地域文化論	2		○				上田		
	日本経済論	2		○				辻本		
	地域の化学	2		○				吉村		
	生活の化学	2		○				志田		
	地球環境論	2		○				小林(公)・大原・明正		
	食生活と環境	2		○				雨谷		
	英語	2		○				有元		
	応用英語	2		○				有元		
専門基礎教育科目	データベース入門	2		○				高田		
	情報処理演習	1		○				上田		
	情報処理活用	1		○				上田		
	健康科学論	1		○				林(重)		
	体育実技	1		○				林(重)		
	総合科目 I	2		○				※開講未定		
	生理学	1		○				鈴木(美希)		
	解剖学	2		○				松永・阿部		
	組織発生学	1		○				松永		
	生化学	1		○				吉田		
専門科目	口腔生理学	2		○				松永・阿部		
	口腔解剖学	2		○				吉田		
	口腔発達学	1		○				松永・阿部		
	高齢者歯科学	1		○				佐藤		
	障害者歯科学	1		○				松原		
	病理学	2		○				松原		
	病態学	1		○				望月		
	口腔病理学	1		○				金山		
	微生物学	2		○				吉田		
	薬理学	2		○				吉田		
専門科目	口腔衛生学 I	1		○				金子・伊藤(由)		
	口腔衛生学 II	2		○				川口・大久保・四宮		
	歯科衛生統計学	1		○				佐藤		
	衛生学・公衆衛生学	2		○				吉田		
	歯科衛生行政学	1		○				平田		
	社会保険論	1		○				川下		
	歯科衛生学総論	2		○				野口		
	歯科衛生倫理	1		○				小林(由)		
	臨床検査法	1		○				井上・橋本(和)		
	臨床保存学	1		○				金山		
専門科目	歯科保存学	1		○				吉田		
	小児歯科学	1		○				計		
	口腔外科学	1		○				佐藤		
	口腔矯正学	1		○				森		
	臨床放射線学	1		○				豊田・宮崎・飯島・末石		
	臨床歯科医学特論	1		○				金山		
	歯科予防処置論	1		○				新任教員		
	齲蝕予防処置実習	1		○				新任教員		
	歯周疾患予防処置実習 I	1		○				新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・藤田・新任教員		
	歯周疾患予防処置実習 II	1		○				藤田・吉田・野口・新任教員		
専門科目	歯科保健指導実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	歯科保健指導実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	地域歯科保健実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	地域歯科保健実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	口腔保健管理実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	食生活指導演習 I	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	食生活指導演習 II	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	歯科材料学	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	歯科材料学実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	歯科診療補助論	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
専門科目	歯科診療補助・支援実習 I	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	歯科診療補助・支援実習 II	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	感染予防法	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	救急処置法	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	障害者歯科保健介護論	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	口腔介護予防・リハビリテーション法	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	障害者歯科保健介護実習	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	臨床実習基礎	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	臨床実習応用	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	臨床実習 I	5		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
専門科目	臨床実習 II	6		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	臨床実習 III	7		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員		
	医療福祉システム論	1		○				江原・吉田・栗田		
	人間関係と援助技術	1		○				松浦・崔		
	ホスピタルブレイ I (入門編)	1		○				松平・杉山(全)		
	ホスピタルブレイ II (障がい児編)	1		○				松平・平原		
	社会福祉論	1		○				佐々木		
	臨床心理	1		○				豊永		
	災害時歯科保健	1		○				金山		
	健康社会学	1		○				鈴木(美奈子)		
介護論・介護技術	1		○				豊木(剛)			
カフンゼンション入門	1		○				豊永			
リハビリテーション	1		○				村岡			
歯科衛生総合演習 I	1		○				新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員			
歯科衛生総合演習 II	1		○				藤田・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・新任教員			

☆ 1. 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。 ☆ 2. 歯科衛生士学科履修科目表の必修科目は、そのすべてを履修しなければならない。 ☆ 3. 合計102単位以上履修すること。

歯科衛生学 履修科目表(令和5(2023)年度入学生)

教養科目	授業科目	単位数	時間数	開講時期						担当者	備考
				1年		2年		3年			
				前	後	前	後	前	後		
人間と社会生活の理解	現代と哲学	2	30	○						※先頭の数値が科目担当責任者です。	「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上、「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上、「健康とスポーツ」群から1科目以上履修し、合計10単位以上履修すること。
	現代と歴史	2	30	○							
	文学	2	30	○							
	人間の心理	2	30	○							
	生命と倫理	2	30	○							
	言語と表現	2	30	○							
	音楽通論	2	30	○							
	生活と法	2	30		○						
	発達と教育	2	30		○						
	現代社会学	2	30		○						
科学的思考の基礎	国際関係論	2	30		○						
	情報と生活	2	30		○						
	地域文化論	2	30		○						
	日本経済論	2	30		○						
	地域社会論	2	30		○						
	生活の化学	2	30		○						
	生物学	2	30		○						
	地球環境論	2	30		○						
	食生活と環境	2	30		○						
	英語	2	60		○						
知の技法	実用英語	2	60		○						
	応用英語	2	60		○						
	データベース入門	2	30		○						
	情報処理演習	2	30		○						
	情報の活用	1	30		○						
	健康科学論	1	15		○						
	体育実技	1	45		○						
	総合科目 I	2	30							※開講未定	
	解剖学	1	15		○						
	生理学	2	30		○						
専門基礎教育科目	組織養生学	1	15		○					鈴木(美希)	
	生化学	1	15		○					松永・山本(将)・阿部・小高	
	口腔生理学	2	30		○					吉田	
	口腔解剖学	2	30		○					吉田	
	口腔生理学	1	15		○					廣内・小高・松永・阿部・山本(将)	
	高齢者歯科学	1	15		○					仲井	
	障害者歯科学	1	15		○					松原	
	病理学	2	30		○					松原	
	病態学	1	15		○					金山	
	口腔病理学	1	15		○					望月	
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔微生物学	2	30		○					金山	
	薬理学	2	30		○					吉田	
	口腔薬理学 I	2	30		○					金子・伊藤(由)	
	口腔薬理学 II	2	30		○					川口・大久保・四宮	
	口腔衛生学 I	1	15		○					仲井	
	口腔衛生学 II	1	15		○					仲井	
	歯科衛生統計学	2	30		○					吉田	
	衛生学・公衆衛生学	2	30		○					廣木	
	歯科衛生行政学	1	15		○					平田	
	社会保険論	1	15		○					川下	
臨床歯科学	歯科衛生学総論	2	30		○					野口	
	歯科衛生倫理	1	15		○					森野	
	臨床歯科学序論	1	15		○					仲井	
	臨床検査法	1	15		○					井上・橋本	
	歯科保存学	1	30		○					金山	
	歯科治療学	1	30		○					吉田	
	歯科補綴学	1	30		○					八木	
	小児歯科学	1	30		○					仲井	
	口腔外科学	1	30		○					森	
	歯科矯正学	1	30		○					宮崎・飯島・末石	
歯科予防処置論	臨床放射線学	1	30		○					金山・伊東	
	臨床歯科医学特論	1	15		○					金山	
	歯科予防処置論	1	15		○					山本(智)	
	齲蝕予防処置実習	1	30		○					山本(智)・野口・長谷・松原・中村・藤田・藤木(佳)・金山・吉田・仲井	
	歯周疾患予防処置論	1	15		○					藤田・野口・鈴木(智)	
	歯周疾患予防処置実習 I	1	45		○					藤田・野口・鈴木(智)・松原・中村・鈴木(佳)・金山・吉田・仲井	
	歯周疾患予防処置実習 II	1	45		○					藤田・野口・長谷・山本(智)・小林(由)・松原・中村・鈴木(佳)・金山・吉田・仲井	
	臨床歯科診査法	1	15		○					長谷	
	栄養学・歯科栄養学	2	30		○					竹下	
	歯科保健指導論	1	30		○					竹下	
歯科保健指導論	歯科保健指導実習	1	30		○					森野・山本(智)・長谷	
	地域歯科保健論	1	15		○					山本(智)・野口・長谷・松原・中村・藤田・鈴木(佳)・金山・吉田・仲井	
	地域歯科保健実習	1	45		○					野口	
	口腔保健管理実習	1	30		○					野口・長谷・山本(智)・小林(由)・松原・中村・藤田・鈴木(佳)・金山・吉田・仲井	
	食生活指導演習 I	1	30		○					長谷	
	食生活指導演習 II	1	30		○					野口	
	歯科材料学	1	15		○					竹下	
	歯科材料学実習	1	45		○					金山	
	歯科診療補助論	1	15		○					鈴木(佳)・吉田・仲井	
	歯科診療補助論	歯科診療補助・支援実習 I	1	45		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井
歯科診療補助・支援実習 II		1	45		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
感染予防法		1	30		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
救急処置法		1	15		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
障害者歯科保健介護論		1	15		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
口腔介護予防・リハビリテーション法		1	15		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
障害者歯科保健介護実習		1	45		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
臨床実習基礎		1	45		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
臨床実習応用		1	45		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
臨床実習		臨床実習 I	5	225		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井
	臨床実習 II	6	270		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
	臨床実習 III	7	315		○					鈴木(佳)・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井	
	医療福祉システム論	1	15		○					江原・吉田・深江	
	人間関係と援助技術	1	15		○					松浦・崔	
	ホスピタルブレイ I (入門編)	1	15		○					松平・杉山(全)	
	ホスピタルブレイ II (障がい児編)	1	15		○					松平・平原	
	社会福祉論	1	15		○					松井・中澤・佐々木	
	臨床心理学	1	15		○					高水	
	災害時歯科保健	1	15		○					金山	
健康社会学	1	15		○					鈴木(美奈子)		
介護概論・介護技術	1	30		○					鈴木(俊)		
カウンセリング入門	1	15		○					高水		
リハビリテーション	1	15		○					村岡		
歯科衛生総合演習 I	1	30		○					新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤		
歯科衛生総合演習 II	1	30		○					新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤		

☆ 1. 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。 ☆ 2. 歯科衛生学履修科目表の必修科目は、そのすべてを履修しなければならない。 ☆ 3. 合計102単位以上履修すること。

学科共通科目「医療福祉システム論」、「人間関係と援助技術」、「ホスピタルブレイ I (入門編)」、「ホスピタルブレイ II (障がい児編)」の中から7科目以上履修すること。
 選択必修科目(13科目)の中から7科目(7単位)以上履修すること。
 ※「ホスピタルブレイ II (障がい児編)」履修のためには、「ホスピタルブレイ I (入門編)」の履修が必要

歯科衛生学 履修科目表 (令和4(2022)年度入学生)

教養科目	授業科目	単位数	開講時期						担当者	備考
			1年		2年		3年			
			前	後	前	後	前	後		
人間と社会生活の理解	現代と哲学	2	○						中尾	「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上、「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上、「健康とスポーツ」群から1科目以上履修し、合計10単位以上履修すること。
	現代と歴史	2	○						厚地	
	人間の心理	2	○						西田	
	生命と倫理	2	○						瀬山	
	言語と表現	2	○						堂園	
	音楽通論	2	○						種橋	
	生活と法	2	○						山本(学)	
	発達と教育	2	○						相本	
	現代社会学	2	○						大賀	
	国際関係論	2	○						上田	
	情報と生活	2	○						金	
	地域文化論	2	○						上田	
	地域社会学	2	○						上田	
	生物の化学	2	○						吉村	
	生物学	2	○						吉田	
地球環境論	2	○						野澤		
食生活と環境	2	○						雨谷		
英語	2	○						田崎		
英会話	2	○						有元		
応用英語	2	○						有元		
電子・タライエンス入門	2	○						高田		
情報処理演習	1	○						高田		
情報の活用	1	○						上田		
健康科学論	1	○						上田		
体育実技	1	○						林		
総合科目 I	2	○						※開講未定		
科学的思考の基礎	解剖学	1	○						鈴木(実希)	「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上、「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上、「健康とスポーツ」群から1科目以上履修し、合計10単位以上履修すること。
	細胞発生学	2	○						松永・山本(将)・阿部・小高	
	生化学	1	○						吉田	
	生理学	2	○						吉田	
	口腔解剖学	2	○						小高・松永・阿部・山本(将)	
	口腔発達学	1	○						仲井	
	高輪歯科学	1	○						松原	
	腫瘍歯科学	1	○						松原	
	病理学	2	○						有泉	
	病態学	1	○						望月	
	口腔病理学	1	○						有泉	
	衛生生物学	2	○						吉田	
	口腔微生物学	1	○						吉田	
	薬理学	2	○						金子・伊藤(由)	
	薬科薬理学	1	○						川口・大久保・四宮	
専門基礎教育科目	口腔衛生学 I	2	○						仲井	「人間理解」「人間と現代社会」「地域と生活」のいずれかの群から1科目以上、「人間と自然環境」「知の技法」の各群から1科目以上、「健康とスポーツ」群から1科目以上履修し、合計10単位以上履修すること。
	口腔衛生学 II	1	○						仲井	
	口腔衛生学 III	1	○						仲井	
	歯科衛生学統計学	2	○						吉田	
	歯科衛生学公衆衛生学	2	○						眞木	
	歯科衛生学行政学	1	○						平田	
	社会保険論	1	○						山下	
	歯科衛生学総論	2	○						野口	
	臨床歯科学総論	1	○						森野	
	臨床検査法	1	○						仲井	
	歯科保存学	1	○						井上・橋本	
	歯科補綴学	1	○						金山	
	小児歯科学	1	○						吉田	
	口腔外科学	1	○						八木	
	歯科矯正学	1	○						仲井	
歯科放射線学	1	○						森		
臨床歯科医学特論	1	○						宮崎・安村・末石		
歯科予防処置論	1	○						金山		
齲蝕予防処置論	1	○						山本(智)		
歯周疾患予防処置論	1	○						山本(智)・野口・長谷・森野・松原・中村・藤田・鈴木(桂)・金山・吉田・仲井		
歯周疾患予防処置実習 I	1	○						藤田		
歯周疾患予防処置実習 II	1	○						藤田		
臨床歯科検査法	1	○						鈴木(桂)・金山・吉田・仲井		
実習学・歯科実習学	2	○						仲井		
歯科保健指導論	1	○						末永		
歯科保健指導実習	1	○						森野・山本・長谷		
地域歯科保健論	1	○						森野・山本(智)・野口・長谷・松原・中村・藤田・鈴木(桂)・金山・吉田・仲井		
地域歯科保健実習	1	○						野口		
口腔保健管理実習	1	○						野口・長谷・山本(智)・森野・松原・中村・藤田・鈴木(桂)・金山・吉田・仲井		
食生活指導演習 I	1	○						長谷		
食生活指導演習 II	1	○						長谷		
歯科材料学	1	○						鈴木(桂)・金山・吉田・仲井		
歯科材料学実習	1	○						中村		
歯科診療補助論	1	○						鈴木(桂)		
歯科診療補助・支援実習 I	1	○						鈴木(桂)・森野・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井		
歯科診療補助・支援実習 II	1	○						鈴木(桂)・森野・野口・長谷・山本(智)・松原・中村・藤田・金山・吉田・仲井		
感染予防法	1	○						山本(智)		
救急処置法	1	○						松原		
障害者歯科保健介護論	1	○						松原		
口腔介護予防・リハビリテーション法	1	○						松原		
障害者歯科保健介護実習	1	○						松原		
臨床実習基礎	1	○						長谷・野口・石川・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・新任教員・吉田・金山・佐藤		
臨床実習応用	1	○						長谷・野口・石川・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・新任教員・吉田・金山・佐藤		
臨床実習 I	5	○						野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・新任教員・吉田・金山・佐藤		
臨床実習 II	6	○						野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・新任教員・吉田・金山・佐藤		
臨床実習 III	7	○						野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・新任教員・吉田・金山・佐藤		
専門教育科目	医療福祉システム論	1	○						江原・吉田・深江	学科共通科目「医療福祉システム論」「人間関係と援助技術」「ホスピタルブレイト I (入門編)」「ホスピタルブレイト II (障がい児編)」の履修は、そのうち1科目以上履修すること。
	人間関係と援助技術	1	○						松浦・名倉	
	ホスピタルブレイト I (入門編)	1	○						松平・杉山(全)	
	ホスピタルブレイト II (障がい児編)	1	○						松平・平原	
	社会福祉論	1	○						松井・中澤・佐々木	
	臨床心理学	1	○						高永	
	災害時歯科保健	1	○						金山	
	健康社会学	1	○						鈴木(美奈子)	
	介護概論・介護技術	1	○						鈴木(俊)	
	カウゼリング入門	1	○						鈴木(俊)	
	リハビリテーション	1	○						村岡	
	歯科衛生学総合演習 I	1	○						新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤	
	歯科衛生学総合演習 II	1	○						新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤	
	歯科衛生学総合演習 III	1	○						新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤	
	歯科衛生学総合演習 IV	1	○						新任教員・野口・石川・松原・小林(由)・新任教員・藤田・新任教員・吉田・金山・佐藤	

☆ 1. 同時開講科目は、そのうちの1科目しか選択できない。 ☆ 2. 歯科衛生学履修科目表の必修科目は、そのすべてを履修しなければならない。

☆ 3. 合計102単位以上履修すること。

社会福祉学科
社会福祉専攻

社会福祉学科 社会福祉専攻 履修科目表(令和8(2026)年度入学生)

教養科目	授業科目	単位数		時間数		開講時期		卒業資格	社会福祉士 指定科目	保育士資格 必修◎選択△	社会福祉士 主任任用資格	担当者 ※先頭の教員が科目担当責任者です。	
		必修	選択	前	後	1年	2年						
		後	前	後	前	後							
人間理解	現代と哲学		2	30	○							尾崎(責)	
	現代と歴史		2	30	○							厚地	
	文学		2	30	○							有元	
	人間と心理		2	30	○							瀬山	
	生命と倫理		2	30	○							堂園	
	言語と表現		2	30	○							村松	
	音楽通論		2	30	○							山本(学)	
	生活と法		2	30	○							根本	
	発達と教育		2	30	○							大賀	
	現代社会学		2	30	○							上田	
	国際関係論		2	30	○							金	
	情報・メディアの法と倫理		2	30	○							上田	
	地域文化論		2	30								辻本	
	日本経済論		2	30								吉村	
	地域社会論		2	30	○							志田	
人間と自然環境	生活の化学		2	30	○							村上・近藤	
	生物学		2	30	○							小林(公)・大原・明正	
	地球環境論		2	30	○							雨谷	
	食生活と環境		2	30	○							竹下	
	英語		2	60	○							有元	
	実用英会話		2	60	○							有元	
	応用英語		2	60	○							高田	
	データサイエンス入門		2	30	○							高田	
	情報処理演習		1	30	○							高田	
	情報の活用		1	30	○							上田	
	健康科学論		1	15	○							林(恵)	
	体育実技		1	45	○							林(恵)	
	総合科目 I		2										
	学術共通科目	医療福祉システム論		1	15								江原・吉田・栗田
		人間関係と援助技術		1	15								松浦・崔
ホスピタルレイイ(入門編)			1	15								松平・杉山(全)	
ホスピタルレイイII(障がい児編)			1	15								松平・平原	
社会保障論 I			2	30	○							中澤・磯野・鈴木(修)	
社会保障論 II			2	30	○							高田	
社会調査の基礎			2	30	○							高田	
ソーシャルワーク論III			2	30	○							高田	
ソーシャルワーク論IV			2	30	○							高田	
ソーシャルワーク演習 I			1	30	○							高田	
ソーシャルワーク演習 II			2	60	○							高田	
ソーシャルワーク演習 III			2	60	○							高田	
地域福祉と包括的支援体制			2	30	○							高田	
福祉サービスの組織と経営			2	30	○							高田	
老人福祉論			1	15	○							高田	
障害者福祉論		2	30	○							高田		
公的扶助論		2	30	○							高田		
権利擁護と成年後見制度		2	30	○							高田		
司法福祉		1	15	○							高田		
ソーシャルワーク実習指導		3	90	○							高田		
ソーシャルワーク実習		5	240	●							高田		
子ども家庭福祉		2	30	○							高田		
社会福祉原論 I		2	30	○							高田		
社会福祉原論 II		2	30	○							高田		
ソーシャルワーク論 I		2	30	○							高田		
ソーシャルワーク論 II		2	30	○							高田		
介護福祉論		2	30	○							高田		
医学一般(基礎)		2	30	○							高田		
保育原理		2	30	○							高田		
子ども家庭支援論		2	30	○							高田		
社会的養護 I		2	30	○							高田		
保育者論		2	30	○							高田		
保育の心理学		2	30	○							高田		
子ども家庭支援の心理学		2	30	○							高田		
子どもの理解と援助		1	30	○							高田		
子どもの食と栄養		2	60	○							高田		
教育課程・保育計画論		2	30	○							高田		
保育内容総論		2	30	○							高田		
保育内容指導法(健康)		2	30	○							高田		
保育内容指導法(人間関係)		2	30	○							高田		
保育内容指導法(環境)		2	30	○							高田		
保育内容指導法(言葉)		2	30	○							高田		
保育内容指導法(表現)		4	60	○							高田		
保育内容の理解と方法 I(言葉)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 II(言葉)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 III(音楽)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 IV(造形)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 V(身体)		1	30	○							高田		
乳児保育 I		2	30	○							高田		
乳児保育 II		1	30	○							高田		
子どもの健康と安全		1	30	○							高田		
障がい児保育 I		1	30	○							高田		
障がい児保育 II		1	30	○							高田		
社会的養護 II		1	30	○							高田		
子育て支援		1	30	○							高田		
保育実習 I		4	180	●							高田		
保育実習指導 I		2	60	○							高田		
保育実践演習・卒業研究		2	60	○							高田		
臨床心理学		2	30	○							高田		
障がいとコミュニケーション技法		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 II(言葉)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 III(音楽)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 IV(造形)		1	30	○							高田		
保育内容の理解と方法 V(身体)		1	30	○							高田		
保育実習 II		2	90	●							高田		
保育実習 III		2	90	●							高田		
保育実習指導 II		1	30	○							高田		
保育実習指導 III		1	30	○							高田		
児童・家族福祉支援論		2	30	○							高田		
社会福祉演習		1	30	○							高田		

注1) 卒業単位(非保育士): 教養(12) + 共通(1) + 専門必修(19) + 専門選択(34) = 66

注2) 卒業単位(保育士): 教養(12) + 共通(1) + 専門必修(19) + 専門選択(59) = 91

注3) 保育士資格: △₁ から6単位以上履修すること。

注4) 社会福祉士主任任用資格: △₃ から3科目以上履修すること。(科目名の末尾に「I」、「II」がついている科目については、いずれも履修し1科目とみなす。)

注5) 学外実習科目については実施時期を●印で表している。

社会福祉学科 社会福祉専攻 履修科目表 (令和7(2025)年度入学生)

授業科目	単位数	時間		開講時期		卒業資格	社会福祉士 指定科目	保育士資格 必修◎選択△	社会福祉士 主任任用資格	担当者
		必修	選択	1年	2年					
教養科目	現代と哲学	2	30	○						中尾
	文学	2	30	○						厚地
	人間の心理	2	30	○						西田
	人命と倫理	2	30	○		2単位以上履修				瀬山
	言語と表現	2	30	○	○					堂園
	音楽通論	2	30	○	○					村松
	生活と法	2	30	○	○					山本(学)
	発達と教育	2	30	○	○	2単位以上履修		◎		根本
	現代社会学	2	30	○	○					大賀
	国際関係論	2	30	○	○					上田
	情報・メディアの法と倫理	2	30	○	○					金
	地域文化論	2	30	○	○	2単位以上履修				辻本
	日本経済論	2	30	○	○					吉村
	地域社会論	2	30	○	○					志田
	生活の化学	2	30	○	○	2単位以上履修				野呂
人間と自然環境	2	30	○	○					増澤	
地球環境論	2	30	○	○					雨谷	
食生活と環境	2	30	○	○					竹下	
英語	2	60	○	○	2単位以上履修				有元	
実用英会話	2	60	○	○					有元	
応用英語	2	60	○	○					有元	
データサイエンス入門	2	30	○	○					高田	
情報処理演習	2	30	○	○					高田	
情報の活用	1	30	○	○					上田	
健康科学論	1	30	○	○					上田	
体育実技	1	45	○	○	いずれか履修		◎		林	
健康とスポーツ	1	45	○	○			◎		林	
総合科目 I	2			※開講未定						
学共共通科目	1	15		○		1単位以上履修				江原・吉田・栗田
人間関係と援助技術	1	15		○						松浦・崔
ホスピタルプレイ I (入門編)	1	15		○						松平・杉山(全)
ホスピタルプレイ II (障がい児編)	1	15		○		I履修が条件			松平・平原	
社会保障論 I	2	30	○	○						中澤
社会保障論 II	2	30	○	○						中澤・磯野・鈴木(修)
社会調査の基礎	2	30	○	○						高田
ソーシャルワーク論Ⅲ	2	30	○	○						松平
ソーシャルワーク論Ⅳ	2	30	○	○						青山
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	30	○	○	必修					松平・青山
ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	60	○	○	必修					松平・青山・飯塚
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	60	○	○	必修					松平・青山・飯塚
地域福祉と包括的支援体制	2	30	○	○						江原
福祉サービスの組織と経営	1	15	○	○						江原
老人福祉論	2	30	○	○						新任教員
障害者福祉論	2	30	○	○						呉羽
公的扶助論	2	30	○	○						尾崎
権利擁護と成年後見制度	1	15	○	○						中澤
司法福祉	2	30	○	○						高木(誠)
ソーシャルワーク実習指導	3	90	○	○						竹内・新任教員
ソーシャルワーク実習	5	240	●	●						加藤・松平・中澤・江原・佐々木・音山
子ども家庭福祉	2	30	○	○	必修					佐々木
社会福祉原論Ⅰ	2	30	○	○	必修					江原
社会福祉原論Ⅱ	2	30	○	○	必修					江原
ソーシャルワーク論Ⅰ	2	30	○	○	必修					松平
ソーシャルワーク論Ⅱ	2	30	○	○	必修					青山
介護福祉論	2	30	○	○	必修					鈴木(俊)
医学一般(基礎)	2	30	○	○						高井
保育原理	2	30	○	○						崔
子ども家庭支援論	2	30	○	○						奥田
社会的養護Ⅰ	2	30	○	○						松浦
保育者論	2	30	○	○						菊地・加藤
保育の心理学	2	30	○	○						小林(佐)
子ども家庭支援の心理学	2	30	○	○						小林(佐)
子どもの理解と援助	1	30	○	○						小林(佐)・佐々木
子どもの保健	2	30	○	○						高橋
子どもの食と栄養	2	60	○	○						竹下
教育課程・保育計画論	2	30	○	○						菊地
保育内容総論	1	30	○	○						菊地
保育内容指導法(健康)	2	30	○	○						及川(直)
保育内容指導法(人間関係)	2	30	○	○						崔
保育内容指導法(環境)	2	30	○	○						甲賀
保育内容指導法(言葉)	2	30	○	○						菊地
保育内容指導法(表現)	2	30	○	○						山本(学)
保育内容の理解と方法Ⅰ(言葉)	4	60	○	○						山下
保育内容の理解と方法Ⅰ(音楽)	1	30	○	○						山本(学) ほか
保育内容の理解と方法Ⅲ(音楽)	1	30	○	○						山本(学)
保育内容の理解と方法Ⅰ(造形)	1	30	○	○						八木
保育内容の理解と方法Ⅰ(身体)	1	30	○	○						及川(直)
乳児保育Ⅰ	2	30	○	○						岡村
乳児保育Ⅱ	1	30	○	○						岡村
子どもの健康と安全	1	30	○	○						高橋
障がい児保育Ⅰ	1	30	○	○						佐々木・金子
障がい児保育Ⅱ	1	30	○	○						佐々木
社会的養護Ⅱ	1	30	○	○						松浦
子育て支援	1	30	○	○						松浦
保育実習Ⅰ	4	180	●	●						松平・松平
保育実習指導Ⅰ	2	60	○	○						佐々木・松平・江原・中澤・加藤・音山
保育実践演習・卒業研究	2	60	○	○						江原・奥田・佐々木・尾崎・中澤・濱口・松平・音山
随席心理学	2	30	○	○						高城
障がいとコミュニケーション技法	1	30	○	○						尾崎・大川
保育内容の理解と方法Ⅱ(言葉)	1	30	○	○						宮下
保育内容の理解と方法Ⅱ(音楽)	1	30	○	○						山本(学) ほか
保育内容の理解と方法Ⅱ(造形)	1	30	○	○						奥田
保育内容の理解と方法Ⅱ(身体)	1	30	○	○						及川(直)
保育実習Ⅱ	2	90	●	●						佐々木・松平・江原・中澤・加藤・音山
保育実習Ⅲ	2	90	●	●						佐々木・松平・江原・中澤・加藤・音山
保育実習指導Ⅱ	1	30	○	○						佐々木・松平・音山・江原・中澤・加藤
保育実習指導Ⅲ	1	30	○	○						佐々木・松平・音山・江原・中澤・加藤
児童・家族福祉支援論	2	30	○	○	必修					松平・奥田・江原・中澤・佐々木・尾崎・尾崎・音山
社会福祉演習	1	30	○	○						音山・奥田・佐々木・尾崎・中澤・松平・鈴木(俊)・江原

注1)卒業単位(非保育士): 教養(12) + 共通(1) + 専門必修(17) + 専門選択(36) = 66

注2)卒業単位(保育士): 教養(12) + 共通(1) + 専門必修(17) + 専門選択(61) = 91

注3)保育士資格: △₁ から6単位以上履修すること。

注4)社会福祉士主任任用資格: △₁ から3科目以上履修すること。(科目名の末尾に「I」、「II」がついている科目については、いずれも履修し1科目とみなす。)

注5)学外実習科目については実施時期を●印で表している。

社会福祉学科
介護福祉専攻

社会福祉学科 介護福祉専攻 履修科目表 (令和8(2026)年度入学生)

授 業 科 目	単位数	週時間数				卒業資格	卒業資格 卒業 必修◎ 選択	介護福祉士 国試受験資格 資格 必修◎ 選択△	担 当 者
		1年		2年					
		前	後	前	後				
現代と哲学	2	30	2					尾崎(賛)	
現代と歴史	2	30	2					厚地	
文学	2	30	2					有元	
人間の心理	2	30	2		2			瀬山	
生命と倫理	2	30	2					堂園	
言語と表現	2	30	2					村松	
音楽通論	2	30	2					山本(学)	
生活と法	2	30	2					根本	
発達と教育	2	30	2					大賀	
現代社会学	2	30	2					上田	
国際関係論	2	30	2		2			金	
情報・メディアの法と倫理	2	30	2					上田	
地域文化論	2	30	2					辻本	
日本経済論	2	30	2					吉村	
地域社会学	2	30	2					志田	
生活の化学	2	30	2					村上・近藤	
生物学	2	30	2		2			小林(公)・大原・明正	
地球環境論	2	30	2					雨谷	
食生活と環境	2	30	2					竹下	
英語	2	60	2	2				有元	
実用英会話	2	60	2	2				ピーターズ	
応用英語	2	60	2	2				有元	
データサイエンス入門	2	30						高田	
標本調査	2	30						高田	
情報処理演習	1	30	2					上田	
情報の活用	1	30	2					上田	
健康科学論	1	15	1					林(恵)	
体育実技	1	45	2	1				林(恵)	
総合科目 I	2	30	※開講未定						
医療福祉システム論	1	15	1					江原・吉田・栗田	
人間関係と援助技術	1	15	1					松浦・崔	
ホスピタルブレイ I (入門編)	1	15	1		1			松平・杉山(全)	
ホスピタルブレイ II (障がい児編)	1	15	1		1			松平・平原	
社会福祉 I	2	30	2					江原	
障害とコミュニケーション技法	1	30			2			尾崎(剛)・大川	
福祉経営とリーダーシップ	2	30			2			曾根	
社会福祉 II	2	30	2					江原	
社会保障論	2	30	2					中澤	
家族福祉論	2	30	2					奥田	
児童福祉論	2	30	2					佐々木	
公的扶助	2	30	2					中澤	
介護レクリエーションA	1	15	2					奥田、高木(剛)、山本(学)	
介護レクリエーションB	1	15	2					尾崎(剛)・大石・奥田・木林・高木(剛)・濱口	
身体のしくみ I	2	30	2					木林	
身体のしくみ II	2	30	2					高井	
身体のしくみ III	2	30	2					高井	
心のしくみ	2	30	2					小林(佐)	
障害者の生活の理解 I	2	30	2					尾崎	
こころの障害	2	30	2					長坂	
認知症の理解 I	2	30	2					大石・奥山	
認知症の理解 II	2	30	2					高木(剛)・山本(敏)	
発達と老化 I	2	30	2					小林	
発達と老化 II	2	30	2					伊藤(純)・栗田・藤田	
介護福祉論 I	2	30	2					鍋木(俊)	
介護福祉論 II	2	30	2					高木(剛)	
高齢者の生活の理解 I	2	30	2					飯塚	
高齢者の生活の理解 II	2	30	2					呉羽	
障害者の生活の理解 I	2	30	2					尾崎	
介護リハビリテーション	1	30	2					中村・村岡	
コミュニケーション I	2	30	2					濱口	
コミュニケーション II	2	30	2					濱口	
生活支援技術 I	1	30	2					奥田	
生活支援技術 II	1	30	2					竹下	
生活支援技術 III	2	60	4					竹下	
生活支援技術 IV	1	30	4		2			奥田・大塚	
基礎介護技術	2	60	4					大石・秋山	
応用介護技術	2	60	4					大石・新任教員	
発展介護技術	1	30	1	1				高木(剛)・大石・濱口	
介護過程 I	1	30	2					高木(剛)	
介護過程 II	1	30	2					濱口・大石・及川(ゆ)	
介護過程 III	1	30	2					平澤	
介護過程 IV	1	30	2					木林	
発展介護過程	1	30	1	1				高木(剛)・大石・尾崎(剛)・木林・濱口	
介護実習指導 I	2	60	2	2				濱口・大石・高木(剛)・奥田・尾崎(剛)・木林	
介護実習指導 II	2	60	2	2				奥田・尾崎(剛)・木林・大石・高木(剛)・濱口	
介護実習 I A	1	45	●					濱口・大石・高木(剛)・奥田・尾崎(剛)・木林	
介護実習 I B	2	90	●					濱口・大石・高木(剛)・奥田・尾崎(剛)・木林	
介護実習 II A	4	180	●	●				奥田・尾崎(剛)・木林・大石・高木(剛)・濱口	
介護実習 II B	3	135						奥田・尾崎(剛)・木林・大石・高木(剛)・濱口	
医療的ケア I	2	30	2					木林・秋山	
医療的ケア II	1	30	4					木林・秋山・大村	
医療的ケア III	2	60	4	4				木林・秋山・大村	
社会福祉演習	2	60						濱口・尾崎(剛)・木林	
介護福祉演習	2	60	2	2					

注1) 卒業資格： 教養科目(12) + 学科共通(1) + 卒業必修(23) + 卒業選択(30) = 66単位以上

注2) 介護福祉士国試受験資格： 教養科目(12) + 学科共通(1) + 資格必修(78) + 資格選択(6) + 介護福祉演習(2) = 99単位以上

注3) ★印は、社会福祉士主事任用資格科目であり、3科目以上履修する必要がある。(科目名の末尾に「I」、「II」がついている科目については、いずれも履修し科目とみなす。)

注4) 「介護実習」等、学外実習科目については実施時期を●印で表している。

社会福祉学科 介護福祉専攻 履修科目表(令和7(2025)年度入学生)

授業科目	授業科目	単位数		時間数		週時間数				担当者	備考
		必修	選択	数	1年		2年				
					前	後	前	後			
人間理解	現代と哲学		2	30	2					中尾	2単位以上履修
	現代と歴史		2	30	2					厚地	
	文学		2	30	2					西田	
	人間の心理		2	30	2			2		瀬山	
	生命と倫理		2	30	2					宮岡	
	言語と表現		2	30	2					村松	
	音楽通論		2	30			2			山本(学)	
	生活と法		2	30	2					梶本	
	発達と教育		2	30	2					大賀	
	現代社会学		2	30	2					上田	
人間と現代社会	国際関係論		2	30			2			金	2単位以上履修
	情報・メディアの法と倫理		2	30				2		上田	
	地域文化論		2	30					2	辻本	
	日本経済論		2	30	2					吉村	
	地域社会論		2	30	2					志田	
	生活の化学		2	30	2					野呂	
	生物学		2	30	2					増澤	
	地球環境論		2	30			2			雨谷	
	食生活と環境		2	30	2					竹下	
	英語		2	60	2	2				有元	
知の技法	実用英会話		2	60	2					高須	2単位以上履修
	応用英語		2	60	2					有元	
	データサイエンス入門		2	30			2			高田	
	標本調査		2	30				2		高田	
	情報処理演習		1	30	2					上田	
	情報の活用		1	30			2			上田	
	健康科学論		1	15			1			林	
	体育実技		1	45	2	1				林	
	総合科目Ⅰ		2	30						※開講未定	
	健康とスポーツ	医療福祉システム論		1	15	1					
人間関係と援助技術			1	15	1					松浦・崔	
ホスピタルブレイⅠ(入門編)			1	15				1		松平・杉山(全)	
ホスピタルブレイⅡ(障がい児編)			1	15				1		松平・平原	
社会福祉Ⅰ			2	30	2					江原	
障害とコミュニケーション技法			1	30				2		尾崎・大川	
福祉経営とリーダーシップ			2	30				2		曾根	
社会福祉Ⅱ			2	30			2			江原	
社会保険論		★	2	30				2		中澤	
家族福祉論			2	30				2		奥田	
人間と社会	児童福祉論	★	2	30				2		佐々木	I履修が条件
	公的扶助	★	2	30				2		中澤	
	介護レクリエーションⅠ		0.5	15	2					奥田	
	介護レクリエーションⅡ		0.5	15			2			原川	
	介護レクリエーションⅢ		0.5	15			2			林(韓)	
	介護レクリエーションⅣ		0.5	15			2			澤田	
	身体のしくみⅠ		2	30	2					木林	
	身体のしくみⅡ		2	30	2					高井	
	身体のしくみⅢ		2	30	2			2		高井	
	心のしくみ		2	30	2					小林	
介護の基本	障害者の生活の理解Ⅰ		2	30				2		尾崎	3科目以上6単位以上履修すること
	障害者の生活の理解Ⅱ		2	30				2		長坂	
	認知症の理解Ⅰ		2	30	2					大石・奥山	
	認知症の理解Ⅱ		2	30	2					高木(剛)・山本(敏)	
	発達と老化Ⅰ		2	30			2			小林	
	発達と老化Ⅱ		2	30			2			伊藤(純)・栗田・藤田	
	介護福祉論Ⅰ	★	2	30	2					鈴木(俊)	
	介護福祉論Ⅱ	★	2	30	2					高木(剛)	
	高齢者の生活の理解Ⅰ		2	30	2					久保	
	高齢者の生活の理解Ⅱ		2	30	2					久保	
介護の過程	障害者の生活の理解Ⅱ		2	30			2			尾崎	2単位以上履修
	介護リハビリテーション		1	30				2		中村・村岡	
	コミュニケーションⅠ		2	30	2					濱口	
	コミュニケーションⅡ		2	30	2					濱口	
	生活支援技術Ⅰ		1	30	2					奥田	
	生活支援技術Ⅱ		1	30	2					竹下	
	生活支援技術Ⅲ		2	60			4			竹下	
	生活支援技術Ⅳ		1	30				2		奥田・大塚	
	基礎介護技術		2	60	4					安・大石・秋山	
	応用介護技術		2	60	4					安・大石	
介護の総合演習	発展介護技術		1	30				1		高木(剛)・大石・濱口	2単位以上履修
	介護過程Ⅰ		1	30	2					高木(剛)	
	介護過程Ⅱ		1	30			2			濱口・大石・鈴木(俊)・及川(ゆ)	
	介護過程Ⅲ		1	30				2		平澤	
	介護過程Ⅳ		1	30				2		木林	
	発展介護過程		1	30				1		高木(剛)・大石・奥田・尾崎・木林・濱口	
	介護実習指導Ⅰ		2	60	2					濱口・大石・高木(剛)・奥田・木林・鈴木(俊)・安・尾崎	
	介護実習指導Ⅱ		2	60	2			2		奥田・尾崎・木林・大石・高木(剛)・濱口	
	介護実習ⅠA		1	45						濱口・大石・高木(剛)・奥田・木林・鈴木(俊)・安・尾崎	
	介護実習ⅠB		2	90						濱口・大石・高木(剛)・奥田・木林・鈴木(俊)・安・尾崎	
医療的ケア	介護実習ⅡA		4	180						奥田・尾崎・木林・大石・高木(剛)・濱口	2単位以上履修
	介護実習ⅡB		3	135						奥田・尾崎・木林・大石・高木(剛)・濱口	
	医療的ケアⅠ		2	30						奥田・尾崎・木林・大石・高木(剛)・濱口	
	医療的ケアⅡ		1	30			2			木林・秋山	
	医療的ケアⅢ		2	60				4		木林・秋山・大村	
	社会福祉演習		2	60				4		木林・秋山・大村	
	介護福祉演習		2	60				2		濱口・尾崎・木林	
	卒業最低単位数		2	60				2		濱口・尾崎・木林	
	一般教養・選択(12)＋学科共通(1)＋専門科目・必修(78)＋専門科目・選択(6)＋介護福祉演習(2)＝99単位以上										

注) ★印は、社会福祉士主事任用資格科目であり、3科目以上履修する必要がある。(科目名の末尾に「Ⅰ」、「Ⅱ」がついている科目については、いずれも履修し1科目とみなす。) 注) 「介護実習」等、学外実習科目については実施時期を●印で表している。

こども学科

こども学科 履修科目表 (令和8(2026)年度入学生)

教 養 科 目	授業科目	単位数	開講時期		卒業資格	幼稚園教諭 免許	保育士資格 必修◎選択△	社会福祉主事 任用資格	担当者
			1年	2年					
			前	後					
人 間 理 解	現代と哲学	2	30	○					尾崎(賢)
	文学	2	30	○					有元
	人間の心理	2	30	○					瀬山
	生命と倫理	2	30	○					堂園
	言語と表現	2	30	○					村松
	音楽通論	2	30	○					山本(学)
	生活と法	2	30	○					相本
	発達と教育	2	30	○					大賀
	現代社会学	2	30	○					上田
	国際関係論	2	30	○					金
人 間 と 現 代 社 会	情報・メディアの法と倫理	2	30	○					上田
	地域文化論	2	30	○					辻本
	日本経済論	2	30	○					吉村
	地域社会論	2	30	○					志田
	生活の化学	2	30	○					村上・近藤
	生物学	2	30	○					小林(公)・大原・明正
	地球環境論	2	30	○					雨谷
	食生活と環境	2	30	○					竹下
	英語	2	60	○					有元
	実用英会話	2	60	○					有元
知 の 技 法	応用英語	2	30	○					高田
	データサイエンス入門	2	30	○					高田
	情報処理演習	1	30	○					上田
	情報の活用	1	30	○					上田
	健康科学論	1	15	○					林(恵)
	体育実技	1	45	○					林(恵)
	総合科目 I	2		※開講未定					
	医療福祉システム論	1	15	○					吉田・江原・栗田
	人間関係と援助技術	1	15	○					松浦・崔
	ホスピタルブレイ I (入門編)	1	15	○					松平・杉山(全)
保 育 の 基 礎 理 論	ホスピタルブレイ II (障がい児編)	1	15	○					松平・平原
	教育原理	2	30	○					松浦
	幼児教育者論	2	30	○					菊地
	教育社会学	2	30	○					橋本(勝)
	教育心理学	2	30	○					小林(佐)
	教育原理	2	30	○					崔
	教育課程 - 保育計画論	※	2	30	○				菊地
	保育内容総論	※	1	30	○				菊地
	保育内容指導法(健康)	※	2	30	○				及川(直)
	保育内容指導法(人間関係)	※	2	30	○				崔
保 育 の 計 画 と 領 域 ・ 指 導 法 に 関 する 科 目	保育内容指導法(環境)	※	2	30	○				甲賀
	保育内容指導法(言葉)	※	2	30	○				菊地
	保育内容指導法(表現)	※	4	60	○				林(韓)、山本(学)
	子どもの健康	1	30	○					及川(直)
	子どもの環境	1	30	○					甲賀
	子どもの表現A	1	30	○					山本(学)
	子どもの表現B	1	30	○					林(韓)
	子どもの教育的ニーズの理解と支援	2	60	○					甲賀
	教育の方法と技術	※	2	30	○				甲賀
	幼児理解	※	2	30	○				崔
専 門 科 目	乳児保育 I	2	30	○					岡村
	乳児保育 II	1	30	○					岡村
	生活	2	30	○					得屋
	保育内容の理解と方法 I (言葉)	1	30	○					宮下
	保育内容の理解と方法 I (音楽)	1	30	○					山本(学) ほか
	保育内容の理解と方法 III (音楽)	1	30	○					山本(学)
	保育内容の理解と方法 I (造形)	1	30	○					林(韓)
	保育内容の理解と方法 I (身体)	1	30	○					及川(直)
	保育の心理学	2	30	○					小林(佐)
	子ども家庭支援の心理学	1	30	○					小林(佐)
保 育 の 技 術 に 関 する 科 目	子どもの理解と援助	2	30	○					小林(佐)・佐々木
	子どもの保健	2	30	○					高橋
	子どもの健康と安全	1	30	○					高橋
	子どもの食と栄養	2	60	○					竹下
	子ども家庭支援論	2	30	○					奥田
	教育相談	2	30	○					小林(佐)
	子育て支援	1	30	○					松浦
	福祉原論 I	2	30	○					江原
	子ども家庭福祉	2	30	○					松浦
	社会的養護 I	2	30	○					松浦
保 育 十 選 択 必 修 科 目	社会的養護 II	2	30	○					松浦
	介護福祉論	2	30	○					鈴木(俊)
	臨床心理学	2	30	○					高城
	障がいとコミュニケーション技法	1	30	○					尾崎(剛)・大川
	保育内容の理解と方法 II (言葉)	1	30	○					宮下
	保育内容の理解と方法 II (音楽)	1	30	○					山本(学) ほか
	保育内容の理解と方法 II (造形)	1	30	○					林(韓)、奥田
	保育内容の理解と方法 II (身体)	1	30	○					及川(直)
	教育実習	4	120	●					菊地・及川(直)・崔・林(韓)・甲賀・小林(佐)・松浦・山本(学)
	教育実習指導	1	30	○					菊地・及川(直)・崔
教 育 ・ 保 育 実 践 に 関 する 科 目	教育実習 I	4	180	●					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・崔
	教育実習 II	2	60	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
	教育実習 III	2	90	●					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・崔
	教育実習指導 I	2	90	●					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・崔
	教育実習指導 II	2	90	●					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・崔
	教育実習指導 III	1	30	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
	保育実践演習	1	30	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
	保育実践演習 II	1	30	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
	保育実践演習 III	1	30	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
	保育実践演習 IV	2	30	○					松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)
実 習 総 括 科 目	実習総括科目 I	2	30	○					松浦ほか
	実習総括科目 II	2	30	○					松浦ほか
	実習総括科目 III	2	30	○					小林(佐)ほか
教 職 教 養 科 目	日本国憲法	2	30	○					
	卒業研究	2	60	○					

注1) 教育実習受講資格: 科目名に※印のある科目を履修していること。

保育士資格: △1 から6単位以上修得すること。

社会福祉主事任用資格: △2 から3科目以上修得すること。

卒業要件: 上記表中の条件を満たした上で、合計66単位以上修得する。

注2) 学外実習科目については、実施時期を●印で表している。

△1 合計8単位以上を履修

△2 II, IIIのいずれかを履修

△3 合計12単位以上を履修

△4 合計53単位以上を履修

こども学科 履修科目表(令和7(2025)年度入学生)

教養科目	授業科目	単位数 必修 選択	時間 数	開講時期		卒業資格	幼稚園教諭 免許	保育士資格 必修◎選択△	社会福祉主事 任用資格	担当者
				1年 前	1年 後					
人間理解	現代と哲学	2	30	○						中尾
	現代と歴史	2	30	○						厚地
	文学	2	30	○						瀨田
	人間の心理	2	30	○						西田
	生命と倫理	2	30	○						瀨山
	言語と表現	2	30	○						堂園
	音楽通論	2	30	○						村松
	生活と法	2	30	○						山本(学)
	発達と教育	2	30	○						根本
	現代社会学	2	30	○						大賀
	国際関係論	2	30	○						上田
	情報・メディアの法と倫理	2	30	○						金
	地域文化論	2	30	○						上田
	日本経済論	2	30	○						辻本
	地域社会論	2	30	○						吉村
人間と自然環境	生活の化学	2	30	○						志田
	生物学	2	30	○						野呂
	地球環境論	2	30	○						橋澤
	食生活と環境	2	30	○						雨谷
	英語	2	60	○						竹下
	実用英会話	2	60	○						有元
	応用英語	2	60	○						高須
	データサイエンス入門	2	30	○						有元
	標本調査	2	30	○						高田
	情報処理演習	1	30	○						高田
	情報の活用	1	30	○						上田
	健康科学論	1	15	○						上田
	体育実技	1	45	○						林(恵)
	総合	2								林(恵)
	学科共通科目	医療福祉システム論	1	15						
人間関係と援助技術		1	15							松浦・榎
ホスピタルブレイ I (入門編)		1	15							松平・杉山(全)
ホスピタルブレイ II (障がい児編)		1	15							松平・平原
教育原理		2	30	○						松浦
幼児教育者論		2	30	○						菊地
教育社会学		2	30	○						橋本(勝)
教育心理学		2	30	○						小林(佐)
保育原理		2	30	○						榎
教育課程・保育計画論		※	2	30	○					菊地
保育内容総論		※	1	30	○					菊地
保育内容指導法(健康)		※	2	30	○					及川(直)
保育内容指導法(人間関係)		※	2	30	○					榎
保育内容指導法(環境)		※	2	30	○					甲賀
保育内容指導法(言葉)		※	2	30	○					菊地
保育内容指導法(表現)	※	4	60	○					山本(学)	
子どもの健康	1	30	○						及川(直)	
子どもの環境	1	30	○						甲賀	
子どもの表現A	1	30	○						山本(学)	
子どもの表現B	1	30	○						林(韓)	
特別な教育的ニーズの理解と支援	2	60	○						甲賀	
教育の方法と技術	※	2	30	○					甲賀	
幼児保育 I	※	2	30	○					榎	
幼児保育 II	※	2	30	○					榎	
乳児保育 I	2	30	○						岡村	
乳児保育 II	1	30	○						岡村	
生活	2	30	○						得屋	
保育内容の理解と方法 I (言葉)	1	30	○						宮下	
保育内容の理解と方法 I (音楽)	1	30	○						山本(学) ほか	
保育内容の理解と方法 III (音楽)	1	30	○						山本(学)	
保育内容の理解と方法 I (造形)	1	30	○						八木	
保育内容の理解と方法 I (身体)	2	30	○						及川(直)	
保育の心理学	2	30	○						小林(佐)	
子ども家庭支援の心理学	1	30	○						小林(佐)	
子どもの理解と援助	2	30	○						小林(佐)・佐々木	
子どもの健康と安全	2	30	○						高橋	
子どもの食と栄養	2	60	○						高橋	
子ども家庭支援論	2	30	○						竹下	
教育相談	2	30	○						奥田	
子育て支援	1	30	○						小林(佐)	
社会福祉原論 I	2	30	○						松浦	
子ども家庭福祉	2	30	○						江原	
社会的養護 I	2	30	○						松浦	
社会的養護 II	1	30	○						松浦	
介護福祉論	2	30	○						鈴木(俊)	
臨床心理学	2	30	○						高城	
障がいとコミュニケーション技法	1	30	○						尾崎(剛)・大川	
保育内容の理解と方法 II (言葉)	1	30	○						宮下	
保育内容の理解と方法 II (音楽)	1	30	○						山本(学) ほか	
保育内容の理解と方法 II (造形)	1	30	○						奥田	
保育内容の理解と方法 II (身体)	1	30	○						及川(直)	
教育実習	4	120	●						菊地・及川(直)・榎・林(韓)・甲賀・小林(佐)・松浦・山本(学)	
教育実習指導	1	30	○						菊地・及川(直)・松浦・山本(学)	
保育実習 I	4	180	●						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・榎	
保育実習指導 I	2	60	○						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)	
保育実習 II	2	90	●						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・榎	
保育実習 III	2	90	●						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・榎	
保育実習指導 II	2	90	○						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・榎	
保育実習指導 III	1	30	○						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)・及川・菊地・榎	
実習総括科目 保育・教職実践演習	2	30	○						松浦・林(韓)・甲賀・小林(佐)・山本(学)	
日本国憲法	2	30	○						松浦ほか	
卒業研究	2	60	○						根本	
専 門 科 目										小林(佐)ほか

注1) 教育実習講義: 科目名に※印のある科目を履修していること。

保育士資格: △1 から6単位以上修得すること。

社会福祉主事任用資格: △2 から「保育実習 II 及び保育実習指導 II」または「保育実習 III 及び保育実習指導 III」のいずれかを修得すること。

卒業要件: 上記表中の条件を満たした上で、合計66単位以上修得すること。

注2) 学外実習科目については、実施時期を●印で表している。

8 実務経験のある教員による授業科目

以下の科目では、担当教員が授業科目に関連した実務経験を活かして実践的教育を行っています。各授業科目のシラバスでは、どの教員が、どのような実務経験を活かし、どのような授業を実施するかを記載しています。

教養科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
発達と教育	2	大賀志真
地球環境論	2	雨谷敬史
合計	4	

学科共通科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
医療福祉システム論	1	吉田直樹、栗田真由美
合計	1	

歯科衛生学科専門科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
生理学	1	鈴木美希
生化学	1	吉田直樹
口腔生理学	2	吉田直樹
口腔発達学	1	佐藤遊洋
高齢者歯科学	1	松原ちあき
障害者歯科学	1	松原ちあき
病態学	1	望月亮
口腔病理学	1	金山圭一
微生物学	2	吉田直樹
口腔微生物学	1	吉田直樹
歯科薬理学	1	川口充
口腔衛生学Ⅰ	2	佐藤遊洋
口腔衛生学Ⅱ	1	佐藤遊洋
歯科衛生行政学	1	平田創一郎
歯科衛生学総論	2	野口有紀
歯科衛生倫理	1	小林由佳梨
臨床歯科医学序論	1	佐藤遊洋
臨床検査法	1	井上孝、橋本和彦

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
歯科保存学	1	金山圭一
歯周治療学	1	吉田直樹
小児歯科学	1	佐藤遊洋
口腔外科学	1	森正次
歯科矯正学	1	喜田賢司、宮崎晴代、飯島由貴、末石研二
歯科放射線学	1	金田隆
臨床歯科医学特論	1	金山圭一
齲蝕予防処置実習	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
歯周疾患予防処置論	1	藤田美枝子
歯周疾患予防処置実習Ⅰ	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
歯周疾患予防処置実習Ⅱ	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
臨床歯科診査法	1	佐藤遊洋
歯科保健指導論	1	小林由佳梨
歯科保健指導実習	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
地域歯科保健論	1	野口有紀
地域歯科保健実習	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
歯科衛生過程	1	石川裕子
口腔保健管理学実習	1	吉田直樹、野口有紀、石川裕子、金山圭一、 松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
歯科材料学	1	金山圭一
歯科材料学実習	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
歯科診療補助・支援実習Ⅰ	1	吉田直樹、野口有紀、佐藤遊洋、石川裕子、 金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
歯科診療補助・支援実習Ⅱ	1	吉田直樹、野口有紀、佐藤遊洋、石川裕子、 金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
救急処置法	1	吉田直樹、金山圭一
障害者歯科保健介護論	1	松原ちあき
口腔介護予防・リハビリテーション法	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
障害者歯科保健介護実習	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、 小林由佳梨、藤田美枝子
臨地実習基礎	1	吉田直樹、野口有紀、佐藤遊洋、石川裕子、 金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
臨地実習応用	1	吉田直樹、野口有紀、佐藤遊洋、石川裕子、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
臨地実習Ⅰ	5	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
臨地実習Ⅱ	6	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
臨地実習Ⅲ	7	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
災害時歯科保健	1	金山圭一
リハビリテーション	1	村岡健史
歯科衛生総合演習Ⅰ	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
歯科衛生総合演習Ⅱ	1	吉田直樹、野口有紀、金山圭一、松原ちあき、小林由佳梨、藤田美枝子
合計	72	

社会福祉学科社会福祉専攻専門科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
老人福祉論	2	呉羽かおる
権利擁護と成年後見制度	1	高木誠一
司法福祉	2	竹内政昭
子ども家庭福祉	2	佐々木将芳
介護福祉論	2	鈴木俊文
医学一般(基礎)	2	高井由美子
保育者論	2	菊地篤子
子ども家庭支援の心理学	2	小林佐知子
教育課程・保育計画論	2	菊地篤子
保育内容総論	1	菊地篤子
保育内容指導法(健康)	2	及川直樹
保育内容指導法(言葉)	2	菊地篤子
保育内容の理解と方法Ⅰ(音楽)	1	田代千早、山田美穂子、鷺巣貴乃
保育内容の理解と方法Ⅰ(身体)	1	及川直樹
乳児保育Ⅰ	2	岡村由紀子
乳児保育Ⅱ	1	岡村由紀子
障がいとコミュニケーション技法	1	大川香織
保育内容の理解と方法Ⅱ(音楽)	1	田代千早、原川洋子、山田美穂子、鷺巣貴乃
合計	29	

社会福祉学科介護福祉専攻専門科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
障害とコミュニケーション技法	1	大川香織
福祉経営とリーダーシップ	2	曾根允
身体のしくみⅠ	2	木林身江子
身体のしくみⅡ	2	高井由美子
身体のしくみⅢ	2	高井由美子
こころの障害	2	長坂和則
認知症の理解Ⅰ	2	大石桂子、奥山恵理子
認知症の理解Ⅱ	2	高木剛、山本敏幸
発達と老化Ⅱ	2	伊藤純子、栗田真由美、藤田登志美
介護福祉論Ⅰ	2	鈴木俊文
介護福祉論Ⅱ	2	高木剛
高齢者の生活の理解Ⅱ	2	飯塚哲男
高齢者の生活の理解Ⅱ	2	呉羽かおる
介護リハビリテーション	1	中村俊彦、村岡健史
コミュニケーションⅠ	2	濱口晋
コミュニケーションⅡ	2	濱口晋
基礎介護技術	2	大石桂子、秋山みゆき
応用介護技術	2	大石桂子
発展介護技術	1	高木剛、大石桂子、濱口晋
介護過程Ⅰ	1	高木剛
介護過程Ⅳ	1	木林身江子
発展介護過程	1	高木剛、濱口晋、木林身江子、大石桂子
医療的ケアⅠ	2	木林身江子、秋山みゆき
医療的ケアⅡ	1	木林身江子、秋山みゆき、大村早苗
医療的ケアⅢ	2	木林身江子、秋山みゆき、大村早苗
介護福祉演習	2	濱口晋
合計	45	

こども学科専門科目

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
幼児教育者論	2	菊地篤子
教育課程・保育計画論	2	菊地篤子
保育内容総論	1	菊地篤子
保育内容指導法(健康)	2	及川直樹
保育内容指導法(言葉)	2	菊地篤子
乳児保育Ⅰ	2	岡村由紀子
乳児保育Ⅱ	1	岡村由紀子

担当科目	単位数	担当者氏名(実務経験のある教員)
保育内容の理解と方法Ⅰ(音楽)	1	田代千早、山田美穂子、鷺巣貴乃
保育内容の理解と方法Ⅰ(身体)	1	及川直樹
子ども家庭支援の心理学	2	小林佐知子
子ども家庭福祉	2	松浦崇
保育内容の理解と方法Ⅱ(音楽)	1	田代千早、原川洋子、山田美穂子、鷺巣貴乃
教育相談	2	小林佐知子
介護福祉論	2	鈴木俊文
障がいとコミュニケーション技法	1	大川香織
合計	24	

9 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

静岡県立大学短期大学部は、「一般教育を重んじ、これと密接な関連を保ちつつ、深く専門の学芸を教授研究し、実際的な応用能力の展開を図り、時代の要請と地域社会の要望にこたえうる有為な人材を育成する」という本学の目的を理解し、本学で学びたいという意欲を持つ学生を求めています。

こうした学生を受け入れるため、静岡県立大学短期大学部では、多様な選抜方法と多面的な評価尺度による入学者選抜を実施しています。

各学科の求める学生像

歯科衛生学科

歯科衛生学科は、次のような学生を求めています。

- ・健康に関心があり、歯科衛生士として社会に貢献したいという意欲がある人
- ・基礎的な知識・学力を有し、自ら考えて学ぼうとする人
- ・生涯にわたり学び続け、人間としての成長をめざす人

専門知識の修得に必要な学力を有し、周囲の人々と協働し口の健康を通して、社会に貢献する歯科衛生士をめざし、理論的、実践的な学習により主体的に考え学ぶ力、問題解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を身に付けられる人を求めています。

社会福祉学科

社会福祉学科は、次のような学生を求めています。

- ・基礎的な学力を有し、専門職（社会福祉士、保育士、介護福祉士）として社会に貢献したいという意欲がある人
- ・人や社会に関心をもち、インクルーシブな共生社会の実現にむけて積極的に取り組める人
- ・自ら考えて学ぶ意欲があり、多様な人々と連携・協働できる人

専門知識の修得に必要な学力を有し、社会福祉の基盤となる人間尊重の原理を根底に、幅広い領域で活躍できる専門職として、論理的な思考力、的確な判断力、主体的な行動力、他者とのコミュニケーション能力、総合的な問題解決能力を身に付けられる人を求めています。

こども学科

こども学科は、次のような学生を求めています。

- ・保育への情熱と豊かな感性を持ち、専門性を身に付ける上で十分な基礎的学力を有する人
- ・子どもと、子どもを取り巻く環境に深く興味・関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲の高い人
- ・周りの人々と協働しつつ社会に貢献しようとする思いを持つ人

専門知識の修得に必要な基礎的学力を有し、保育者として自ら学び続けていく力を理論的、実践的な学習を通して身に付けられる人を求めています。

10 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

静岡県立大学短期大学部では、一般教育を重んじ、これと密接な関連を保ちつつ、深く専門の学芸を教授研究し、実際的な応用能力の展開を図り、時代の要請と地域社会の要望にこたえうる有為な人材を育成することを目的とし、歯科衛生学科、社会福祉学科、こども学科を設置しています。各学科ではこの目的に沿ったディプロマ・ポリシーに基づいて教育課程を編成しています。

歯科衛生学科

歯科衛生学科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、教養科目及び専門科目を系統的かつ段階的に学べるよう、次のとおりカリキュラムを編成しています。

- 1 人間理解、人間と現代社会、地域と生活、人間と自然環境、知の技法、健康とスポーツからなる教養科目での学びを基礎とし、専門基礎教育科目、専門教育科目を履修することにより、歯科衛生に関する専門的知識と技術を修得し、それらの実践を通して対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を育成する。
- 2 人間と自然環境、知の技法、健康とスポーツの教養科目での学びを基礎に、課題解決型の授業（演習・実習）等を組み込んだ専門教育科目の履修や臨地実習における歯科衛生の実践を通して、人々の健康に関する諸問題を分析、解決できる論理的思考力や問題解決能力を養う。
- 3 歯科衛生業務を理解するための専門教育科目や基礎から応用へと段階的に学ぶ臨地実習科目の履修を通して、歯科衛生を実践する者としての役割と責務を自覚し、歯科衛生に関する一連のプロセスを的確に遂行できる力を養う。
- 4 学科共通科目や医療福祉関連科目の履修により、人間関係、対人援助等に関わる知識と技術を学び、臨地実習を通して他職種との協働・連携に必要な医療人としての規範意識とマナー、社会性、協調性、判断力を身につけ、豊かな人間性や倫理観を養う。
- 5 健康科学、食生活、医療福祉関連科目、専門教育科目の履修を通して、対象者の生活環境や全身の健康状態等を総合的に把握し、人々の健康づくりを支援するための幅広い知識・技術・態度を養うとともに、専任教員による少人数制の臨地実習指導により主体的な学習姿勢、生涯にわたり自ら学び続ける能力を養う。

1年次には教養科目、専門基礎および専門教育科目、専門職業人としての役割を理解するための科目や臨地実習（基礎）、2年次には専門教育科目の講義と専門的知識・技術を学ぶ学内実習科目、医療福祉や対人援助に関わる科目、地域の高齢者、幼児・学童等を対象とした臨地実習（応用）へと段階的に学び、3年次には多様な臨地実習により有病者、要介護高齢者や障がいのある方等への支援の方法を更に深く学べるように編成しています。歯科衛生学科では、教育内容に応じてアクティブラーニング、体験型実習等も活用します。

学修成果の評価方法は、各科目の到達目標に対応して行います。

社会福祉学科

社会福祉学科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、教養科目及び専門科目を系統的かつ段階的に学べるよう、次のとおりカリキュラムを編成しています。

(社会福祉専攻)

- 1 教養科目では、人間理解、人間と現代社会、地域と生活、健康とスポーツ、総合の群により、問題解決力と論理的思考力を養う。人間と自然環境、知の技法では、コミュニケーション・スキルや数量的スキル及び情報リテラシーの能力を養う。
- 2 社会福祉の基礎となる科目では、社会福祉制度の仕組みを理解し、人間の価値や尊厳の保持という人権尊重の意義・福祉観の形成及び倫理観と自己管理能力を培う。
- 3 学科共通科目では、保健医療分野と連携しチームワーク、リーダーシップなど他者と協調・協同して行動できる能力を養う。
- 4 教養科目、社会福祉の基礎科目の学びを礎に、社会福祉士養成に関する科目では、利用者のニーズ把握と相談援助という高度な社会福祉専門的知識と技術を講義と学内演習で習得する。それらと連動させて、保健医療分野との連携協同の必要性の理解を促す。一連の学びについて、ソーシャルワーク実習を通じて、その意義の理解と倫理観の向上を図り、社会福祉士としての実践力を培う方向に導く。
- 5 保育士資格に関する科目では、保育の本質、目的、内容及び方法について系統的かつ段階的に学び、保育実習により保育活動を展開できる実践的能力を養う。さらにソーシャルワークの専門知識・技術の学びと実習を通じて、多様で複合化・複雑化する子ども・家庭及び社会的養護のニーズに対応できるよう、理論的・創造的思考力を身につける。

(介護福祉専攻)

- 1 教養科目群である人間理解、人間と現代社会、地域と生活、人間と自然環境、知の技法、健康とスポーツの各群の学びを基礎とし、介護福祉及びその隣接科目を配置することにより、社会に貢献する福祉人材の基盤となる、豊かな人間性、倫理観、総合的判断力を養う。
- 2 介護福祉の専門科目として、人間と社会、こころとからだのしくみ、介護、医療的ケアの各領域を講義と演習により体系的に学修することで、介護実践を担保する専門的知識・技術を修得する。
- 3 学科共通科目、人間と社会の領域や介護の基本、コミュニケーション技術、医療的ケア領域に含まれる科目において、ケースメソッド等の手法（演習形式）を取り入れることにより、保健医療分野と連携するチームワーク、リーダーシップなど他者と協調・協働して行動できる能力を養う。
- 4 生活支援技術や介護過程等の講義・演習を土台として、発展介護技術、発展介護過程等における少人数グループによる課題解決型学習（演習形式）を通して科学的思考と介護実践のプロセスを段階的に学修し、利用者の介護に係る論理的思考力や創造的思考力を身に付ける。
- 5 介護総合演習、介護実習において、専門科目での学びを総合的に活用することで、介護福祉の実践者として自身の行動を律するとともに、生涯にわたって学び続ける能力を養う。

1年次には、社会福祉の基礎的知識を学び、人々の暮らしの中の様々な生活課題について、目指す資格に応じて、論理的思考力やニーズ把握等に対応できる専門的な知識・技術を学びます。実習では講義と演習で習得した知識と技術をもとに対象や施設の特性について理解を深めます。2年次は、サービス利用者に対する支援の方法について、講義、演習、実習を通じて段階的、発展的に理解と実践力を深めていきます。

学修成果の評価方法は、各科目の到達目標に対応して行います。

こども学科

こども学科では、ディプロマ・ポリシーに基づき、教養科目及び専門科目を系統的かつ段階的に学べるよう、次のとおりカリキュラムを編成しています。

- 1 教養科目では、人間理解、人間と現代社会、地域と生活、人間と自然環境、知の技法、健康とスポーツ群からなる授業科目を通して基礎力を養い、時代の要請と地域社会にこたえる保育を創り出す力を養う。
- 2 保育の基礎理論に関する科目では、保育の意義と理念、子どもの心身の発達と学びの過程、保育の方法及び技術等を系統的かつ段階的に学び、子ども理解を深め、保育活動を創造、展開する能力を養う。また、保育の計画及び指導法に関する科目では、子ども理解に基づいた保育の立案や、保育内容の指導法を獲得することにより、子どもの実態に応じた教育・保育活動を創り出すことのできる能力を養う。
- 3 保育の技術に関する科目では、保育の表現技術を学び、子どもの表現について深く理解すると同時に、自らの表現技術を高め、実践力を育成する。
- 4 福祉の課題に関する科目では、様々な困難を抱える子ども・保護者の状況や、地域の機関について理解を深める。そして、相談と援助に関する科目では、相談・援助の理論と方法の知識を獲得することにより、他の保育者や保護者、更には地域の機関と協働する上で、調和を重んじながら進めることのできる知識や態度を養う。
- 5 卒業研究、保育・教職実践演習では、主体的に課題を見つけて考察し、研究しようとする態度と力を養う。

1年次には、教養科目を通して保育の専門職に必要とされる教養を学び、専門科目では保育の専門職に必要とされる理論的基礎と実践的知識を修得します。2年次には、1年次で学んだ内容を土台として、段階的、発展的に専門の学びを深められるように編成しています。1年次後期より、教育実習と保育実習が組み込まれ、講義と演習で獲得した知識と技術を実践で活かしていくことのできる力を養います。

学修成果の評価方法は、各科目の到達目標に対応して行います。

1.1 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

静岡県立大学短期大学部では、一般教育を重んじ、これと密接な関連を保ちつつ、深く専門の学芸を教授研究し、実際的な応用能力の展開を図り、時代の要請と地域社会の要望にこたえる有為な人材を育成することを目的としています。これを達成するために設定された教養科目及び専門科目を履修し、所定の単位を修得した者は、卒業が認定されます。

歯科衛生学科

歯科衛生学科では、高度化する歯科保健医療に対応した専門的知識と技術を有し、他職種と協働して、歯科衛生の方法を用いて人々の生涯にわたる健康づくりに貢献できる人間性豊かな専門職を育成することを目的としています。以下に示す力を身に付けるために編成された教育課程において学修し、所定の期間在学して卒業に必要な単位を修得した者は、短期大学士（歯科衛生学）の学位が授与されます。

- 1 歯科衛生に関する専門的知識、技術、コミュニケーション能力を有している。
- 2 論理的思考力と問題解決能力を備えている。
- 3 歯科衛生を実践する者としての役割と責務を自覚し、的確にそれを遂行することができる。
- 4 豊かな人間性と高い倫理観を有し、他職種と協働・連携することができる。
- 5 人々の健康づくりに貢献し、生涯学習に努めることができる。

社会福祉学科

社会福祉学科では、多様化する福祉ニーズに対応した専門的知識と技術を有し、福祉サービスを必要とする人々の自立と自己実現を支援できる人間性豊かな社会福祉専門職を育成することを目的としています。以下に示す力を身に付けるために編成された教育課程において学修し、所定の条件を満たした上で単位を修得した者は、卒業が認定され、短期大学士（社会福祉学）の学位が授与されます。

- 1 豊かな教養と共に、人に対して暖かい眼差しを持ち、あらゆる場面において人権を尊重し、行動することができる倫理観を有している。
- 2 地域社会の変化に関心を持ち、福祉の担い手として主体的に発展・向上させることができる専門的知識・技術を有している。
- 3 サービス利用者の自立と自己実現を目指して、保健・医療分野と連携しチームワーク、リーダーシップなど他者と協調・協働できる能力を有している。
- 4 多様な福祉ニーズに対応できるような、論理的思考力や創造的思考力を有している。
- 5 専門職業人としての自己管理能力や生涯学習能力を備えている。

こども学科

こども学科では、多様化する教育・保育ニーズに対応した高度な専門知識と実践能力に加え、社会人としての教養及び豊かな人間性を持ち、自ら学び続けることのできる保育者を育成することを目的としています。以下に示す力を身に付けるために編成された教育課程において学修し、所定の条件を満たした上で単位を修得した者は、卒業が認定され、短期大学士（こども学）の学位が授与されます。

- 1 幅広い教養、専門的な知識・技術をもとに、教育・保育活動を主体的に創り出す力を有している。
- 2 子どもの発達や、様々な立場の子どもへの理解を土台にして、教育・保育活動を創造、展開する力を備えている。
- 3 自らの構想する教育・保育活動を、身体や言葉などで表現することができる保育実践力を有している。
- 4 他の保育者や保護者、さらには地域の機関と協働する上で、調和を重んじながら進めることのできる知識や態度を備えている。
- 5 主体的に課題を見つけて考察し、探求しようとする課題解決能力を備えている。

12 障害学生支援に関する基本方針

- ・本学は、障害を理由とする差別の解消に取り組みます。
- ・本学は、すべての構成員に対し必要な研修・啓発を継続的に実施します。
- ・本学は、障害のある学生が障害のない学生と平等に教育・研究に参加できるよう機会を確保し、その個性と能力を最大限に発揮できるよう環境を整え、教育の本質を変えずに教育の提供方法について合理的配慮を行ないます。
- ・本学は、障害学生支援に関わるすべてのことは、学生本人を交えて十分に話し合い、学生本人の意思決定を尊重し、主体的に支援を活用できるようサポートします。その上で、障害のある学生が主体的に社会で活躍する人材へと成長できるよう支援します。
- ・本学は、障害の有無にかかわらず、すべての学生が相互の立場を尊重し、互いに学び合える環境を整備し、共生社会の実現に貢献します。

履修細則

1 3 静岡県立大学短期大学部履修細則

平成 21 年 4 月 1 日 細則第 26 号

第 1 章 目的

(目的)

第 1 条 この細則は静岡県立大学短期大学部学則(以下「学則」という。)第 8 章に規定する履修方法等に関し、必要な事項を定めるものとする。

第 2 章 履修の届出

(履修登録)

第 2 条 学生は、学生室が指定する期間内(概ね 2 週間)にその学期において履修しようとする授業科目を Web 学生サービス支援システムにより申告しなければならない。

(履修登録の変更)

第 3 条 履修登録の変更は、申告後学生室が指定する期間内(概ね 1 週間)に限り認める。

2 前項の変更は、Web 学生サービス支援システムにて行う。

3 施設上又は教育上やむを得ないと認められる場合は、履修申告の事前又は事後に履修者を制限する場合がある。

(同一時間重複履修の制限)

第 4 条 同一時間に開講される授業科目は、重複して履修することができない。

(既修得授業科目の再履修)

第 5 条 既に単位を取得した授業科目は、履修することができない。

第 3 章 試験及び成績の評価

(修得の認定対象)

第 6 条 受講が履修科目表に規定する授業科目の時間数の 8 割に満たない授業科目について、忌引、災害等による交通機関の不能及びその他やむを得ない理由により科目担当者が認めた場合を除き、修得の認定をしない。

2 遅刻・早退(各 30 分以内に限る)については、3 回で欠席を 1 回したものとみなす。

3 公欠扱いとなった科目について、科目担当者が必要と認めた場合は、補講等を行うこととする。

(試験)

第 7 条 定期試験は、各学期の終了時(9 月及び 2 月)に約 1 週間にわたり実施される。ただし、授業科目によっては随時行うことがある。

(成績の評価)

第 8 条 成績の評価の区分は、100 点満点としたとき、秀は 100 点～90 点、優は 89 点～80 点、良は 79 点～70 点、可は 69 点～60 点、不可は 59 点以下を目安とする。

2 履修を申告し、単位を取得しなかった授業科目は不可と判定する。

(追試験)

第 9 条 次の理由で試験を遅刻又は欠席した者については、追試験の実施を願い出ることができる。

(1) 病気(ただし、原則として医師の診断書を要する。)

(2) 忌引(日数は、死亡の日より 1 親等は 7 日以内、2 親等は 3 日以内及び 3 親等は 1 日とす

る。)

(3) 就職・進学に関する理由(ただし、原則として7日前までに当該科目担当者又は学生室に追試験願を願い出た場合に限る。)

(4) 公共交通機関の遅延(ただし、原則として遅延証明書を要する。)

(5) その他やむを得ない事項(ただし、具体的に事情の具申あるもの)

2 前項の事由により追試験を希望する者は、定期試験の当該科目試験終了の日から7日以内に、所定の様式(追試験願)にその事由を詳記し、医師の診断書又はその事由を証明する書類を添付し、学生室に願い出なければならない。

3 前項により願い出た結果、当該試験科目担当者が必要と認める場合には、これを行うことができる。追試験の実施は当期試験終了後1か月以内を原則とする。

(再試験)

第10条 成績不良のため不可と判定された授業科目については、原則として再試験は行わない。ただし、当該授業科目の科目担当者が必要と認める場合には、これを行うことができる。再試験の実施及び判定は、当該年度中に行うことを原則とする。

2 再試験を希望する者は、当該科目の試験結果発表の日から7日以内に所定の様式(再試験願)を学生室に願い出なければならない。

3 再試験の成績の評価は、「可」以下となる。

(試験における不正行為者の扱い)

第11条 試験において不正行為を行った者には、当該科目を含むその学期(通年の科目においては年度)のすべての授業科目について、修得の認定をしない。

(再履修)

第12条 修得できなかった授業科目については、再度履修して単位の取得をすることができる。

第4章 授業科目及び履修方法

(開設授業科目)

第13条 開設する授業科目及び単位数は、学則第27条に定めるとおりとする。

(配当年次)

第14条 各授業科目の配当年次は、学科ごとの履修科目表のとおりとする。

(教養科目の履修方法)

第15条 教養科目の履修単位数は、学科ごとの履修科目表のとおりとする。

(学科共通科目の履修方法)

第16条 学科共通科目の履修単位数は、学科ごとの履修科目表のとおりとする。

(専門科目の履修方法)

第17条 専門科目の履修単位数は、学科ごとの履修科目表のとおりとする。

(他学科授業科目の履修方法)

第18条 他学科(社会福祉学科介護福祉専攻の専門科目のうち演習科目を除く。)で開講されている学科共通科目以外の専門科目を履修しようとするときは、当該授業科目の科目担当者の承諾を得なければならない。

2 前項に基づいて履修した者には、審査のうえ単位の認定を行うが、卒業必要単位数には算入しない。

3 第1項に定める許可願は、所定の書式により授業開始後7日以内に学生室に提出するものとする。

第5章 入学前の既修得単位の認定

(入学前の既修得単位の認定)

第19条 学則第25条の3に規定する既修得単位の認定を受けようとする者は、静岡県立大学短期大学部既修得単位の認定に関する規程に定める書式により第1年次の履修登録期間開始の前日までに学生室に申請し、教授会の議を経て、学長の認定を得なければならない。

第6章 その他

(成績の確認願)

第20条 履修した科目(学外実習を含む。)の成績について疑義があるときは、別に定める要領に基づき、成績を入手した日から起算して7日以内に確認願を学生室に提出することができる。

(その他)

第21条 この細則に定めのない事項又はこの細則により難い特別の事情があると認められる事項については、教授会の議によるものとする。

附 則

この細則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

1 この細則は、平成26年4月1日から施行する。

2 改正後の規定は、平成26年4月1日以降に歯科衛生学科、社会福祉学科社会福祉専攻及び社会福祉学科介護福祉専攻に入学する者について適用し、同日前に歯科衛生学科、社会福祉学科社会福祉専攻及び社会福祉学科介護福祉専攻に入学した者並びに看護学科については、なお従前の例による。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。